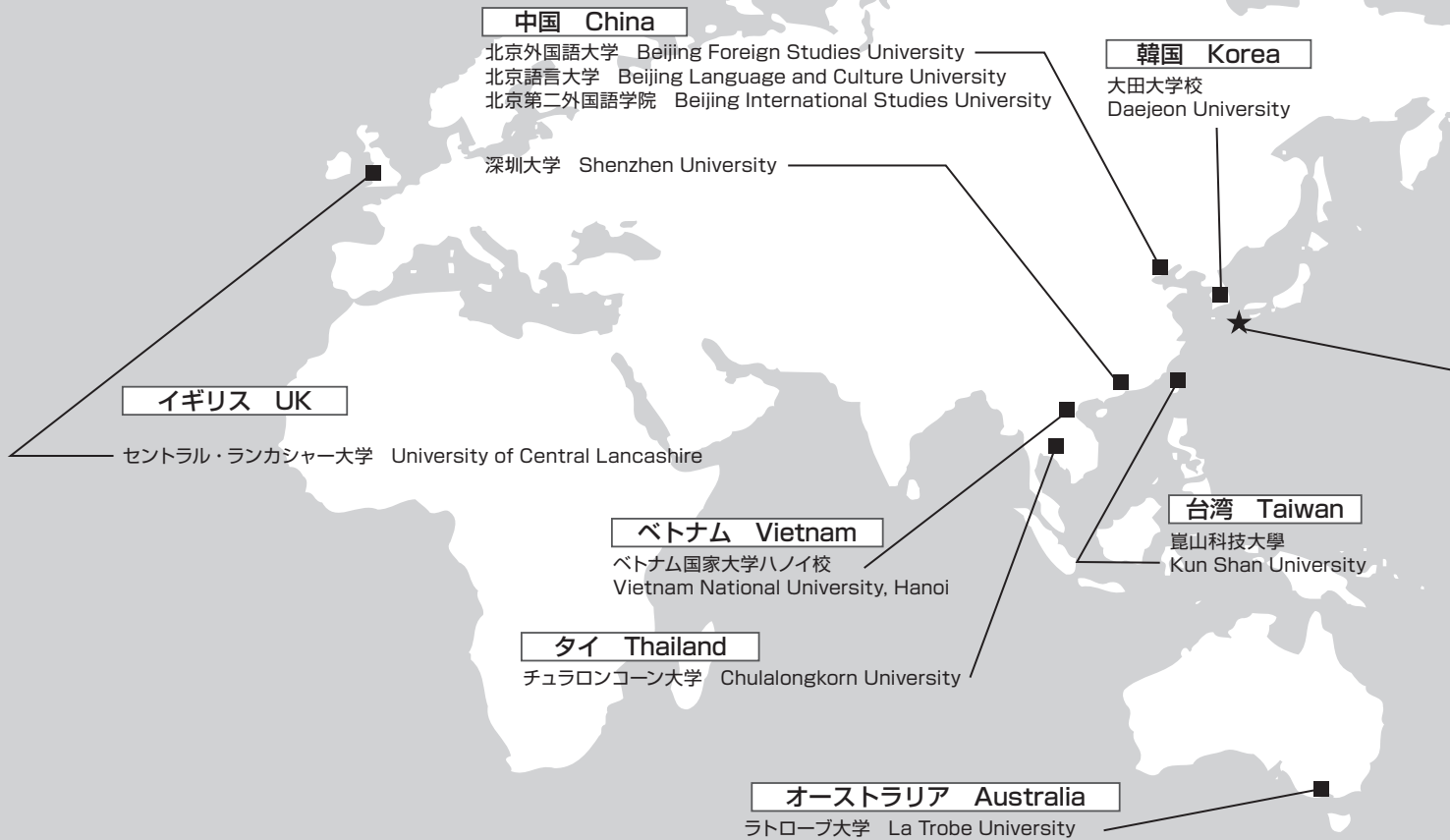


# 国際交流レター

2013 vol.35

International Exchange Letter





## 目次

### 巻頭言

国際交流委員長

司馬公周

2

### TOPICS

第23回外国人留学生弁論大会

新設プログラム 「第1回夏期国際教育プログラム英国コース」

3

### 留学を目指して

松平百合恵 (ホスピタリティ・マネジメント学科4年)  
 山口 緑 (英米学科4年)  
 小北花子 (東アジア学科4年)  
 竹原 僚一 (経営学科5年)  
 藤原 彩果 (商学科4年)

白石 絵理奈 (国際経済学科2年)  
 蔡 熙 眞 (英米学科3年)  
 王 虹 雲 (国際経済学科3年)  
 Terry McAllister (国際経済学科3年)  
 Thananan Damphathik (国際経済学科4年)

4



## 特集 私の学習方法を紹介します

9

竹村 夏美 (英米学科 4年)  
原口 理衣 (英米学科 5年)

岩下 桃子 (東アジア学科 4年)  
井手 孝則 (国際経済学科 4年)

## 交換教員

金 應 洙 大田大学校  
董 国 民 深圳大学  
何 徽 深圳大学  
神 本 忠 光 外国語学部教授  
朴 哲 洙 経済学部教授

11

## 国際交流写真館

16

## DATA

平成 25 (2013) 年 海外往来  
平成 25 (2013) 年度 研修団往来  
平成 25 (2013) 年度 出身国・地域別外国人留学生数  
平成 25 (2013) 年 留学生参加行事  
交換留学生派遣の記録  
交換留学生受入の記録

18



## 国際交流、国際教育のさらなる充実を目指して

国際交流委員長 司馬 公 周

皆さん、こんにちは。

2013年度国際交流レターをお届けします。

グローバル化が加速するなか、国境を越えて留学する人が世界的に増える傾向にあることを示すデータがあった。過去30年間、全世界の留学生数は、1975年の80万人から2009年の367万人へと4倍以上増加している。2025年には770万人へと増加することが予想されている(OECD・経済協力開発機構)。また、日本の高等教育機関に在籍する外国人留学生数も、1983年の10,428人から、2010年の141,774人まで増加している(日本学生支援機構)。ただ、世界的に増加する傾向にあるなかで、日本では海外に赴く学生が減少しているとも言われている。ピーク時の2004年の82,945人から徐々に減少する傾向に転じ、2010年には59,060人へ落ち込んでいる(文部科学省高等教育局学生・留学生課)。世界的に海外に留学する学生数の増加、及び日本における受入れ留学生の増加と比べて、やや特異で対照的な数字である。また、企業の海外進出とも逆の傾向である。海外進出する日本企業の現地法人数は2002年ではすでに13,322社に達し、2011年には19,250社へと増えている(経済産業省「平成25年4月海外事業活動基本調査」)。

こうした状況の中、本学でも海外留学希望者数が若干減少する傾向が見られたものの、受入れも派遣も概ね順調に進められていると言える。ここでは本年度国際交流委員会と学部の共催という形で実施したサマープログラムについて紹介したい。

本学には長、中期のプログラムに加えて、1か月間の短期海外ホームステイプログラムも2003年から続けられてきた。毎年約30名の学生が参加し、類似するプログラムの中で最も順調に推移してきたプログラムであった。一昨年(2012年)、このプログラムの実施を事情でやむなく停止する事態が起きた。そのため、当プログラムの2012年の実績もゼロ名となった。学内からはプログラムを予定通り実施する要望が出され、学生や保護者からもプログラムの復活を期待する声が多く寄せられた。実際、短期プログラムの欠如は長、中期プログラムの成立にも影響することが考えられる。類似するプログラムの新規開設が急務となった。

2011年、本学はイギリスLJMUとの学生交換停止を受けて、直ちに新しい協定校としてUniversity of Central Lancashire(UCLan)との間で交流協定を結び、交換留学制度を開始した。ちなみに、当大学は外国

の大学との間でダブルディグリーの交流を行っている大学であり、協定校である本学の学生が所定の条件をクリアすれば、本学とUCLan双方から卒業の資格を取得することが可能となる。そのUCLanから従来のホームステイプログラムより安価で、魅力的なサマープログラムを提供できる知らせが届いた。他方、全学のプログラム停止後、予算は学部に配分されたが、学部単位での企画立案、実施運営には困難があり、コストがかかることから予算の有効利用と派遣の確実な実施について不安視する声もあった。こうした中で、国際交流委員会と学部の共催案が提案された。これはつまり、国際交流委員会が企画立案と実施運営を行い、学部に配分される予算でその学部学生を派遣するというものである。プログラムの実施がより確実に保証される上、危機管理、実施運営、コスト削減など、いずれの面においても有利な案であった。従来の派遣と比べて、学部との協議、調整に手間がかかったり、迅速な意思決定が損なわれる側面もあったが、委員会と学部、及び事務局の協力のもと、無事実施することができ、2013年度のゼロ派遣を避けることができた。このプログラムは、午前中は語学の勉強に充てられ、午後と休日は自ら社会に出て、イギリス社会の生活を体験するプログラムで、学生からは大変好評を博した。予算の制約もあって、派遣者数は10名以内にとどまったが、今後はより一層の充実と安定的実施を期待している。

世界は今、情報革命の最中。情報伝達、輸送の迅速化と低コストが実現することで、グローバル化の勢いがより一層加速している。経済活動とともに、学生の獲得をはじめ、教育の分野でも競争は地球規模で激化している。個人にとっても、大学にとっても、好むと好まざるとにかかわらず、自らの立ち位置を地球規模で確認し、世界を相手にしなければならない時代である。知識体系の見直しと、より広角的、多角的にものを考え、捉えることが迫られている。国際教養、国際理解、及び外国語能力をはじめ、世界を舞台に活躍するスキルの獲得は現代人にとって必須である。日本では、大学を取り巻く事情が十数年前と大きく変わり、学生の多様化、大学自体の差別化、序列化が進んでいる。こうした内外の事情を的確に把握し、本学にとって最も適切な国際教育方針、国際戦略を策定し、より一層の充実が求められている。そのためには、海外の姉妹大学をはじめ、世界に目を向けて謙虚に学び、より迅速に、より柔軟な姿勢で取り組むことが期待されている。

## 第23回外国人留学生弁論大会

6月の恒例行事である外国人留学生弁論大会は、本学に在籍する外国人留学生を対象とし、彼らの日本語能力の向上を図ると共に日本人との相互理解を深めることを目的として開催しています。今年は、3カ国11名の留学生がこの大会に出場しました。会場には、学生、教職員だけでなく、学外からも大勢の方々が足を運んでくださり、約100名の聴衆が留学生たちの発表に聞き入りました。

最優秀賞に選ばれたのは、ベトナムからの留学生グエン ティ フェンさんによる発表でした。一見冷たく見える日本人は、実は友人に対する熱い思いを持っているということ、また人は噂や見た目の印象で判断すべきではなく、じっくりと付き合いながら相手を知ろうとすることが大事だという自身の体験を通して学んだことが語られました。

### 審査結果

最優秀賞	英米学科3年	グエン ティ フェン Nguyen Thi Huyen	(ベトナム)	日本人：冷たい頭・暖かい心
優秀賞	東アジア学科3年	金 昇 賢	(韓国)	自分自身の壁を飛び越える挑戦
	国際経済学科2年	蘇 文 怡	(中国)	月明かりの道しるべ
敢闘賞	東アジア学科3年	安 チ ョ ヘ	(韓国)	韓国のイケメン
	商学科2年	于 昆 倫	(中国)	意味だけ通じる日本語と日本人らしい日本語
オーディエンス賞	東アジア学科3年	金 昇 賢	(韓国)	自分自身の壁を飛び越える挑戦



＜後列左から＞司馬公周国際交流委員長、張瀚丞、于昆倫、江山、孫文静、彭冬冬、藤本延啓国際交流委員（審査員）、川田亮一商学部教授（審査員）  
＜前列左から＞安チョヘ、金昇賢、蘇文怡、グエン ティ フェン、潘樾、張朱希

## 新設プログラム 「第1回夏期国際教育プログラム英国コース」

海外での語学研修を通して異文化理解を深め、交換留学へ挑戦するきっかけとなるようなプログラムとして位置づけられた「夏期国際教育プログラム英国コース」が始動しました。

2013年8月8日～2013年9月2日の約4週間、本学協定校セントラル・ランカシャー大学に10名を派遣。授業は月曜～金曜の9時～16時15分（水曜・金曜は12時半まで）、午前・午後2コマずつ行われ、会話や英国文化等を学びました。週末には英国北部の観光地として名高い、湖水地方やヨークなどを巡る日帰りツアーが盛り込まれるなど非常に有意義な研修プログラムを提供することができました。

セントラル・ランカシャー大学は、英国中部のプレストンにあることから、北部地方への交通の要となっています。電車で約1時間の距離にリバプールやマ



ンチェスターがあり、自由時間を利用した小旅行に挑戦した学生もいました。第1回目の派遣ということで手探りの部分もあったものの参加学生の満足度は高く、成功裏に終了しました。次年度以降も継続して実施していきたいと考えています。



## 憧れを実現するために

商学部 ホスピタリティ・マネジメント学科 4年 <sup>まつだいら</sup>松平 <sup>ゆりえ</sup>百合恵

【2012年2月～2012年12月】

ニュージーランド・ユニテック工科大学へ交換留学】

私の4年間の学生生活の中で最も充実した日々を送っていたのはニュージーランドに留学していた1年間のようです。

私が留学を志したのは大学1年の冬でした。その頃の私は資格取得の為に勉強もせず、サークル活動もろくに参加せず、何もかもが中途半端でした。ホスピタリティマネジメント学科では1年時から就職活動に向けての講義が在り、3年後自分が就職活動をする際に学生生活で胸を張ってやり遂げたことが無いことに焦りを感じ始めたのが留学という目標が出来たきっかけだったと思います。そして中学生の頃に出会った「ハイスクールミュージカル」という映画が大好きで英語を話せるということに憧れを抱いていました。また、様々な面で国際化が進む中で英語力が在ることによって仕事の選択肢が増えることや世界中の人々とコミュニケーションが取れることを意識し、英語圏への留学を決意しました。

交換留学生に選ばれるためには、まずTOEFLで高得点を取る必要がありました。留学を決意する前まで1度も受けたことが無かったため、専用のテキストを買いテストの内容を知ることから始めました。そしてアルバイトや授業以外の時間を英語の勉強に費やし、点数を上げることに努めました。また、私は英米学科所属ではないので英語を話す機会が少なく英会話力に関しては不安しか在りませんでした。交換留学生の試験では英語でスピーチをしなければならないことを知り、唯一自分の学科で留学生と交流の出来る国際コミュニケーションのクラスを受講し、英語で話す練習をしました。英語に関する授業が少ない分、可能な限り英語の授業は全て受講したと思います。

実際に1年間留学をして感じたことは「あつと言っただけ」ということです。それ程勉強と遊びの両面で有意義な時間を過ごせたのだと思います。まず留学中は自分の人生で1番勉強しました。留学の目的は総合的な英語力の向上だったので、語学学校の授業以外にも図書館や家で毎日勉強しました。苦手だった英会話も自由参加のクラスを利用したり、ホストシスターと遊びながら練習をし、徐々に伸ばしていきました。また、精神面ではより社会性がついたと思います。英語で上手く自分の考えを表現出来るようになったことで、自ら積極的に他国の人に話し掛け、コミュニケーションを取れるようになりました。また、クラスメイトから勉強に関して質問をされることも多かったため、自分の為だけではなく人のために勉強しようと思った時でもありました。

日本にいた頃は自分の置かれている環境が如何に幸せか気付いていませんでした。留学を経験したことで家族や仲の良い友人など周りの人々の支えが在るという有難さを改めて感じました。また留学がきっかけで自分の将来の夢が生まれ就職活動では見事希望した職業に就くことが出来ました。留学で得た英語力と経験を生かし立派な社会人として一層精進していきたいです。



旅行中友人たちと（筆者は後方右）

## 留学する意義

外国語学部 英米学科4年 <sup>やま</sup>山 <sup>ぐち</sup>口 <sup>みどり</sup>緑

【2012年8月～2012年12月】

アメリカ・ウイスコンシン大学オークレア校へ交換留学】

私が留学を目指すきっかけになったのは、授業や友人の「海外話」です。外国語学部ということもあり、周囲に海外経験のある人が多く、彼女達の話はとても魅力的でした。聞いているうちに、私自身がそれを経験したい、発見したいという欲求がでてきました。また、英語が専攻科目にもかかわらず「英会話に自信がない」ということも理由の一つでした。友人に「英語話してみよう！」と言われた時に何も返せなかったことがあり、後からじわじわと情けない気持ちに包まれました。その悔しさからも、このままでは終われない！と留学を決意しました。

それから、留学報告会に参加したり、国際教育課を訪れて先輩方の報告書を読んだり、TOEFLの勉強をしたりしていました。私は全く海外の経験がなかったため、正直不安で仕方がなかったです。初めての長期海外生活に自分は耐えられるのだろうか、自分の英語力でコミュニケーションはとれるのだろうかなど後ろ向きの考えに縛られることもありましたが、しかし、そういう時に私の心に響いたのが留学した先輩方の「不安を抱えながらも挑戦すること」という言葉でした。「うまくいくこと」ではなく「挑戦すること」に価値があるのだと分かりました。それから、留学を通して何を頑張りたいのか、どうなりたいたのか目標を書きだし、それを実現するために何をしていくのかということを考え、意識づけをし、試験に臨みました。留学が決まった後も、何度か「こわい、やめたい」と思ったこともありましたが、書きだした目標を見返すことで「自分は頑張るんだ」と喝をいれていました。

よく「わざわざ外国に行かなくても英語の勉強は日本でもできる」という話を耳にします。確かに、英語の勉強はどこであろうと本人のやる気と行動力次第で可能です。しかし、留学は英語の勉強というよりも「社会」の勉強だと個人的には思います。勿論、英語の勉強も必要不可欠ですが、それ以上に得たものは「思考力」「対応力」でした。文字や話（第三者）で得た知識とは異なる、実際に自分が異文化に触れて生まれた「経験」に留学の意義があるのだと思います。例えば、私は領土問題についてアジア人留学生と本音で語りました。また、ルームメイトには辞書には載っていない類語の微妙なニュアンスの違いを教えてもらいました。それには、テレビや本で知るよりもはるかに真実味があり、その時のことをいつまでも覚えています。単純に英語力（書く・読む・聞く・話すの技能）のみを上げたいのだったら、机に向かってひたすら単語を覚え、問題集を解くのもいいと思います。しかし、実際にコミュニケーションの一環として使われた英語は、「勉強」としてインプットされるのではなく、「思い出」や「経験」として記憶に刻まれるため、生きた英語のまま自分の中に残ります。留学をすることのメリットはそういったところだと思います。



大学のカフェテリアで（筆者は右列1人目）

## たくさんのことに気付かされた留学生活

外国語学部 東アジア学科4年 **こぎた はなこ**  
小北花子

【2012年9月～2013年7月 台湾・崑山科技大學へ交換留学】

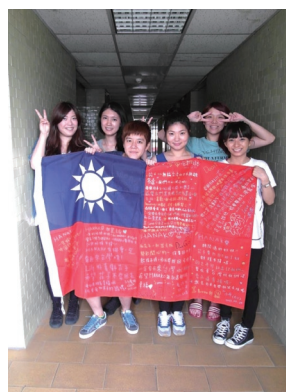
私は2012年9月から2013年7月の約1年間、交換留学という形で台湾の台南にある崑山科技大學へ留学しました。台南は台北から新幹線で2時間ほどの所にあります。台湾の京都とも言われており歴史のある建築物が数多く見られます。私が台湾へ派遣される最初の留学生だったので最初は何も分からず不安でしたが、私のことを家族のように慕ってくれる友達もでき楽しい留学生活を送ることが出来ました。

私の住む寮はベトナムや韓国、ラテンアメリカ、アフリカなど様々な国の留学生がいました。専門が中国語ではない学生の方が多く、彼らは自分の国の言葉や英語で会話をするので初めは苦手意識あまり会話することが出来ませんでした。しかし彼らはいつも声をかけてくれ、話していると明るくポジティブな印象を受けました。私も彼らと話したいと思うようになり自分から声を掛けるようになりました。初めは話せなかったのがどんどん話せるようになりとても嬉しかったです。この時感じたのは、自分の意見をはっきり伝えるということです。いいえ。と言ったら相手はそう捉えてしまいます。日本では相手が気を使ってくれることもありますがその曖昧さは海外ではうまく伝わらないことが多いです。だから自分の意見をはっきりと伝えることの重要性を感じました。また文化の違いや考え方の違いに触れることもできました。えっ？そういう考えもあるんだ。と驚いたこともたくさんあります。視野を広く持ち様々な考え方があることに気づきました。これから社会に出て働く私たちにとって視野を広く持つことは大切なことだと思います。

私が1番大切だと思ったのは人との出会いです。困ったことや分からないことがあると助けてくれる友人がいました。まめに連絡をくれて旅行にも連れて行ってってくれ、いつも私のことを気にかけてくれていました。そんな友達がいてとても心強かったです。留学を通して人の温かさを感じ、家族や友人の大切さにも気付くことができました。

台湾と中国は同じ中国語圏ですがたくさんの違いがあります。文字は繁体字を使用し普通話と比べて「儿er化音」や轻声の使用が少ないです。しかし慣れてしまえば聞き取りも楽です。今まで日本で習っていた中国語と違う部分がありますがその違いも勉強になります。今はまだ台湾との交流が少ないですが、多くの方に台湾に興味を持っていただき次に繋げていってほしいなと思います。

1年間留学をして多くのことを学び、辛いことも楽しいことも含め貴重な経験を送ることが出来ました。私たちの今いる環境が当たり前ではないということに改めて気づかされました。限られた時間を大切にしてこの経験をこれからに生かしていきたいです。国際教育課のみなさんをはじめ家族や友達のおかげで充実した留学生活を送ることができました。とても感謝しています。



帰国前に友人たちと(筆者は後列左)

## 小さなきっかけ

商学部 経営学科5年 **たけ はら りょう いち**  
竹原 僚一

【2012年3月～2013年2月 中国・北京語言大学へ交換留学】

私の留学へのきっかけは少し変わっていたかもしれません。

私が留学を考え始めたのは大学3年生の春で、それまで留学について考えてもみませんでした。何不自由なく、楽しい大学生活を送り、そろそろ就活について考えようとしていた頃です。いざ自己分析や将来像、夢について考えてみても全く思い浮かばず、「このまま社会人となって大丈夫なのだろうか」と毎日のように不安に思っていました。そんな時に、「交換留学生の募集」の掲示を目にしました。もっと広い視野で将来を考えてみたい、何か見つかるかもしれないと思い、また、ちょうど募集メ切り誕生日だったことにも縁を感じ、書類を提出したのがきっかけでした。

選考試験では筆記、面接があり、私は参考書を買って、その1冊を完璧に覚えるつもりで対策をしました。面接では、うまくできなかったが、「留学させてほしい」という熱意は誰にも負けなかったと思いますし、きっとそこを買って頂けたのだと思います。

そして、合否発表の7ヶ月後に1年間の留学をさせて頂きました。成長とともに知らぬ間に覚え使っていた「言葉(日本語)」は使えず、他の言葉(中国語)をまた一から覚え使わなければならぬ初期の頃は苦労しましたが、自分の意見・思いを伝えることができた時の喜びはやがてその苦労をも忘れさせてくれる程のものでした。純粋に「言葉って面白い。」ということに気づかされ、他にも「言葉」以外に多くの事を学びました。特に「事実」と「人」です。

夏休みの時、過激な反日活動が毎日のように日本で報道され、心配された多くの方からメールを頂きました。しかし、実際は中国のごく一部の行為であり、私には日本の報道の方が過剰に思えました。皆が皆反日の感情があるわけでもありません。ある店の店員は、「最近、反日活動があるけど、気にしないでね！これは、君たちが生まれる前からの問題だし、政府間の問題だから。」や「結局、中国は日本なしでは存続できないのね。」などこれらはきっと日本では報道されていないと思います。しかし、このように思っている方々が大多数のも事実です。留学する前は、メディアの情報をそのまま鵜呑みにしていました。しかし、情報とは異なった事実がそこにはあり、実際に居なければ知ることさえできなかった貴重な体験でした。

次に、「人」です。それまで1人暮らしをしたことはなく、いきなり誰にも頼れない環境に身を置いたことは、大変でした。しかし、だからこそ人とのコミュニケーションは大切だと身を持って実感でき、自分は今までもこれからも、周りの「人」に支えられて、そして、生かされているのだと思うようになりました。

そして、この留学を通して、少しずつ夢が見えてきました。やがてそれを形にできるよう、私は今頑張っています。

最後に読んで下さった方へ。『やりたいことは臆することなくやるべきです。死ぬわけではないのだから、やって失敗になることはありません。』これは先生(※写真)から頂いたアドバイスです。辛くなるとき、この言葉を思い浮かべ、自分を励ましています。一緒に頑張りましょう。



前期クラスメートと(筆者は前列左から3番目)



## 自信へ繋がる経験

商学部 商学科 4年 **ふじ 藤** **わら 原** **さや 彩** **か 果**

【2013年8月 夏期国際教育プログラム英国コースに参加】

私は大学生活の4年間、会計の道に進みたいという一心で学んできました。しかし、将来について本格的に決めなければならぬ大学4年生になり、会計の道に進む理由が分からなくなりました。私はなぜ会計を学びたいのか、私は本当に会計が好きなのだろうか、など考え始めると悩みは深まるばかりでした。「4年生の大事な時期に今更何を言っているのか、今まで考えて来なかったのか。」と言われるのが恐く、周りには言えませんでした。そんな時見つけたのがこのプログラムです。将来が決まっていな私にとって大事な時期ではありましたが、英語は好きでしたし、うじうじ悩んでいる位なら違う環境に身を置いて考え直そう、と思い申し込みました。

イギリスでは、休日は国内の有名な都市に観光に行きました。パンフレットに載っているところを実際に見ることができて、大変感動しました。平日は朝から夕方まで大学に通い、日本から来た他の大学の人と共に授業を受けました。私は英語が好きでしたが苦手で、周りの人が現地の先生とすらすら会話をしているところを目の当たりにして、差を痛感し、委縮して初めは言葉を発することが出来ませんでした。しかし、このままではせっかくイギリスまで来たのにもったいないと思い直し、出来ないながらも何か学ぼうと必死に取組むと、先生は私に向けて簡単な言葉に直し、何度も説明してくれました。周りの人も親切に教えてくれました。分からないことを悔やむより、今の自分の能力を知り、その状況でできることをすることで学べることがたくさんあることに気づくことができました。夕方から夜は自由時間です。ほぼ毎日寮の団楽室で部屋のみんなで一緒におしゃべりをして楽しく過ごしました。考えごとをしたときは個人の部屋でゆっくりと過ごしました。このゆっくりした時間がとても貴重でした。普段常に持ち歩いていた会計の本を全く持っていかなかったため、解放されたとのびのびしていました。しかし、数日もすると会計が学びたくてたまらなくなりました。学びたいという思いがあるならば、これ以上、無理に理由付けはしないのではないかと思います。理由は探せていませんが、無性に会計を学びたいと思ったことは事実です。学びたいから学ぶという単純なことに気づくことができたのは、日常とは違う流れに身を置くことで自分自身を見つめ直すことができたことが大きかったです。

イギリスの人はどんな外見、年齢、体格の人でも周りの目を気にせず自分が好きな格好を堂々としていて、綺麗でいきいきと輝いていました。私も周囲の目を気にしすぎず、私の人生は私主体で好きなように生きていこう、と自信を持つことができて、明るくなれました。帰国してから数ヶ月がたつ今、ちっぽけなことで悩んでいたプログラム参加前よりも毎日がいきいきして楽しくなりました。夏の1ヶ月があったから今の私があります。本当に行ってよかったです。



英語の楽しさを伝えてくれた先生と一緒に

## 体験から学ぶ

経済学部 国際経済学科 2年 **しらいし 白石** **えりな 絵理奈**

【2013年8月 夏期国際教育プログラム英国コースに参加】

8月から1ヶ月間、イギリスへの夏期国際教育プログラムに参加しました。実際に現地で生活するなかで沢山の体験をし、そこでしか感じるこのできないものを吸収したい、異文化に触れたいという思いでいっぱいでした。いま振り返ってみると、それ以上にもっと多くの事を学ぶことができ、とても濃い1ヶ月間になったと感じています。

イギリス出発日までに自分の英語力を少しでも上げておきたいと思い、英会話のCDを聞いて耳を慣らしたり、テレビを見たりしました。しかし現地の生の英語は発音やアクセントが違って、自分でも驚くほどに聞き取れませんでした。先生のネイティブな英語、周りのレベルの高さに圧倒されて何も喋れない、初日の授業はそんな感じでした。生活面でも、自分が想像していた以上の大変さに不安でいっぱいになって泣いてしまう夜もありました。でも逆にそれがバネとなり、受身だった自分がどんどん能動的になりました。とにかく英語を積極的に使うことを心がけました。店員さんにどれがおススメか質問し、一緒に悩みながら満足いく買い物できたとき、自分の英語力アップをすごく実感しました。とても嬉しかったのを覚えています。現地の人はみんなとてもフレンドリーなので、沢山の友達ができました。いろんな場所に観光にも行きました。会話の中で言葉につまることもありましたが、それが面白くて伝え合う楽しさを知りました。

また、異文化にとっても興味をもっていたので、イギリスと日本の文化の違いについても沢山ふれることができてとても興味深かったです。現地での生活は発見の毎日でした。そのくらい日本とイギリスの間には大きな違いがありました。生の英語にふれるだけでなく、そういった異文化を肌で感じる事ができた事は、1ヶ月間生活したからこそ発見できたのであり、とても貴重な経験だと思っています。さらに、異文化にふれていく中で改めて日本の良さを実感しました。当たり前だと思っていたことが実はそうではない日本の美に気づけたことは私にとって大きな収穫でした。

このプログラムに参加したことで一生忘れられない経験を得ることができました。いろんな所に行っている人々と話をする中で、見て、聞いて、毎日が新鮮でした。大変なことも沢山あったけれど、その分良い刺激も沢山もらい、いろんな考え方にふれることができました。そこから、自分のこれからについて考え直すきっかけにもなりました。価値観や物事に対する見方が変わりました。自分の内面を変える機会を与えていただいたことに感謝でいっぱいです。この経験で得たものを自分の糧にしていきたいです。



学校近くのパブで働いているスノーと(筆者は左)



## 「日本に来てよかった。」

チェ ヒ ジン  
蔡 漑 眞

[2012年3月～2013年2月 韓国・大田大学校交換留学生]

皆さん、こんにちは！私はこの熊本学園大学で2012年3月から2013年2月まで、約1年間の留学をさせていただいた「チェヒジン」と申します。韓国から参りました。私にとっては日本という国は人生の中で初めての外国です。別に日本に行ったこともなかったし専門が日本語でもないのに偶然に日本の方と接する機会があって思いました。「日本はどんな国なのか？私が思っているイメージの日本は間違っているんじゃないかな。」それがきっかけになって少しずつ日本に興味を持つようになりました。それから「大田大学校」では留学プログラムが行われていることが分かってから頑張って「熊本学園大学」に留学することになったわけです。

最初は日本語がまったくダメだったのでひらがなから始めました。やはり他の国の言葉を学ぶというのは簡単なことではなかったです。日本に来てからはほぼ2ヶ月間普通の日常会話もできなかったものでしたが少しずつ学校に慣れていってからは日本の生活が楽しくなりました。

日本の街、食べ物、生活、人々等、全部が私にとっては新鮮なショックでした。韓国しか知らなかったものが外地に来ていること自体が前の私だったら考えられないことでした。

食べ物はいうまでもなくうまいものばかりでした。ラーメン、唐揚げ、肉じゃが、豚汁、揚げ出し豆腐、魚煮込み料理等、食べ物の考えばかりで毎日が楽しみでした。あ、ちなみに私は揚げ出し豆腐が目がないです。揚げ出し豆腐は10点満点で10点以上の価値をもっているのは間違いないと思っています。今も居酒屋に行ったら絶対頼んでいます。街は韓国とは違う雰囲気でした。街を見てから驚いたのは、もちろんやっている人もどこかにいるかもしれませんが誰も歩きながらタバコ吸ったり飲み物や食べ物を食べないことでした。その中で一番ビックリしたのは街がきれいなことでした。どこでもゴミ一つも見えませんでした。見つけようとしてもなかったのもっと驚いた記憶があります。

日本人は皆優しくかったです。いわゆる「建前」があるからそうではないのかと心配したことがありましたが、それは私の間違いでした。他人に迷惑をかけないようにするその思い、私は心に染みるくらいの感動を受けました。留学が終わった今も日本で一緒に過ごした人々の笑顔を忘れられないです。それがまた、今になっても私を熊本、この日本に来るようにする要因ではないかと思っています。そして日本語をもっと深く学んでからは日本のことがもっと好きになりました。日本語には他人のことを先に考えてくれるその気持ちが含まれていると思います。さらに敬語はみやびで美しいのでまさに日本の文化だと思っています。日本語の最後目標は敬語をマスターすることです。敬語ってさすが難しすぎですが、そういうことってマスターしたらもっと私に役に立つんじゃないかなと思っています。日本をもっと知ってから日本のことが好き、もっと知りたいと思ひ、今も日本語、日本の文化についての勉強を続けています。いつかは日本で就職もして暮らしたいと思っています。そして日本だけではなく他の国のことにも興味を持つようになりました。

それで英語やスペイン語も勉強しています。私を変化させてくれたのは日本と出会い、熊本学園大学に来たからではないかと思っています。いつでも私は日本に来てよかった、留学して本当に良かったと思います。熊本学園大学から、そして日本で日本語を学んだことは私の誇りです。私が皆さんと出会えたこと、日本に留学したことは私の「一期一会」でした。

結局、言いたいのは「日本に来てよかった」という主題をこんなに分かりやすく書いた文を読んでいただいております！！



Homecoming Dayで韓国を広報中

## 日本への留学を目指して

オウ コウ ウン  
王 虹 雲

[2012年3月～2013年3月 中国・深圳大学交換留学生]

日本から帰国してもう8ヶ月経ちました。今からその留学の一年間を振り返って見ると、相変わらず生き生きとしていて、印象的な一年です。

日本へ留学するきっかけは縁ともいえると思います。それはナルトという漫画を読んだからです。中学校の時、友達の紹介で初めてナルトという漫画を知りました。読んだ後で熱い血あふれ、数々の試練を乗り越え成長していくナルトに対してすごく感心し、ナルトと彼の友人たちの間の絆に対しても大変感動しました。なので、その時からこのような優秀な漫画が作られた日本はどのような国かとずっと頭の中に考えています。その時からこそ、必ず一回でも日本に行かないといけないと決心しました。それ故、大学に入り、日本語を専門としました。

日本へ留学するには、日本語の勉強は言うまでもなく、プログラミング、ヨガのような日本語以外の授業もちゃんとしないとだめです。私の学校は海外へ留学したければ、優秀な成績を取らないとならないという条件があるのです。なので、暇があれば、学校の図書館へ勉強しに行きます。それは「業精于勤疏于嬉，行成于思毁于随」（長い間にわたって努力をひとつひとつ積み重ねれば、夢に近くなる）という諺を信じているからです。授業での勉強は重要なものですが、課外で日本からの留学生と交流したり、友達になったりするの私にとっていっそう大切な経験でした。日本人の友達との交流が深くなっていくにしたがって、日本人がやさしいというイメージが生まれました。それも日本に留学していく決心を固めました。ついに、3年生の時に、若い頃の夢を叶えました。交換留学生として熊本学園大学で一年間の留学をすることになりました。

留学中、日本人の優しさや思いやりを再び感じただけでなく、日本のいいところも多く実感しました。昼でも夜でも気にせず外を歩けるのは嬉しいと思います。そのような治安がよく、安心ができるところが非常に好きです。その上、移動手段の便利さも非常にいいところだと思います。電車はどこでも時間通りにくるし、キレイで速くて安全だと思います。私の国では、ほとんどのバスや電車は特に時間通りに来るという規定はありません。それは少し不便だと思います。これから中国の電車やバスも日本のように時間を厳格に守るよう期待しています。

過去中国の大学で単純に授業を受けたより、この一年間の留学からは生活の面にしても、勉強の面にしても、多くのことを勉強しました。若いうちに精一杯勉強しようと思っていて、来年日本の大学院に入って勉強すると決めました。さらに日本のいいところを勉強して、将来日中交流の架け橋になろうと思います。

みなさん、来年また会いましょう！



成人式で着物を初体験



## Fun times in Japan!

テリー マクアリスター  
Terry McAllister

【2012年9月～2013年8月

アメリカ・モンタナ州立大学交換留学生】

Japan was an amazing experience. I was so lucky to be able to travel and live abroad for an entire year. The reason for studying abroad was of course to study Japanese, but also to Japan has been a dream of mine since my early years. Who doesn't like the sound of going to the country of Samurai! While there I met many people, and made many new friends. Kumamoto is a wonderful place in Japan. I feel that it was the perfect size town both with a rural community feel as well as having a very fulfilling downtown experience. I was able to be friend many special people. The other exchange students now are some of my best friends, and of course I was able to make many good Japanese friends. My favorite sport is soccer, and thanks to a staff member of the international office in Japan, I was able to play soccer to my hearts content. By the end of the year, he became a very close friend. I miss all my friends very much. I was fortunate enough to travel in Japan as well! Seeing Tokyo, Kyoto, Nara, Osaka, etc. was a very cool thing to be able to do. By the end of the year, I didn't want to leave. After coming home I simply missed Japan; I know I will return as soon as I am able. I guess to sum up my entire stay.

本当によかったです。とても楽しかった。日本が大好きです。皆、ありがとう。



大分県別府で地獄めぐり

## 雪見のため、勇気で日本までゆき

タナナン ダンパチック  
Thananan Damphathik

【2012年9月～2013年8月

タイ・チュラロンコーン大学交換留学生】

日本から帰って以来、あまり日本語を喋らない日々が続いていますので、今は本当に緊張しています。よく考えると、福岡空港で友達に「じゃ、またね」と言った瞬間からあつという間にもう7ヶ月が過ぎました。時間の経つのが早いですね。でも、日本で出来た思い出はまだ私の心に響いていて、日本での毎日の生活をはっきり覚えています。

日本にいた時、「なんで日本に関することに興味を持つようになった？」という質問はよく聞かれました。その時、私が答えたのは「幼い頃からずっと日本の仮面ライダーに憧れているからさ。」でしたが、もしただ日本のアニメに関心を持つことだけだったら日本まで行くのは必要ではないでしょう。実は、熱帯の国に生まれた私にとって寒さというものは全く想像が出来ないものでした。それで、子供の時からずっと胸に考えていた事は、正直に言う「どこでもいいから、本当の冬がある所に行ってみよう」ということでした。そう思いながら、小さい頃アニメに憧れていた夢をきっかけにして、最初にかっこいい日本語を独学しました。ただその時のまだ純粋な私のアイデアは「頑張ったら、海外に行ける」でした。成長と共に、段々発見していたものがたくさんあって、日本に行けることは予想外に難しかったです。世間をまだ知らず、初めて海外に行くことには多くの勇気が不可欠です。自分に出来るかと悩んでいて、不安でした。でも、頑張ってみないと夢が叶わないから、色々チャレンジして、結局勇気で日本へ行くことが出来ました。

日本に到着してから1年間を通して、自分にとって新しい経験がたくさん出来ました。最初は雪のように冷たい人間の「他の事は何でもいいから、ただ初雪を見たい夢を持って日本に行きたい。」という考えを持っていたのに、いつの間にか自分の人生は新しい色で彩られました。日本人は思ったより優しく、楽しかったです。また私と同じ寮に住んでいた皆さんも、色々な国から来ましたが、皆のハーモニーで、国籍を問わず人と温かさや友情関係などを知りました。皆と一緒に多くのことを体験したり、日本の四季の美しさを味わったりしたことはかなり素晴らしい出来事でした。確かに、1年間で学んだことは教科書では伝わらないことが多かったです。日本で知りあった皆さん、あとは学んだことのお陰で、自分が自分であることに気がきました。

最初、冬に飾った雪だるまのような自分は、桜が咲いた季節に桜舞い散る中で温かくなってきました。心を開いて、他の人を笑顔にできるために、自分が出来ることを知りました。セミが鳴き始め、いつの間にか私は完全に皆と仲良くなって、太陽の下でセミに負けないほど鮮やかな歌を奏しました。また、銀杏が輝いた旬の秋っぽい日は飽きっぽくない日でした。

やっぱり、ただ1年間は足りないですね！

また日本に行きたいです！



雪景色が広がる白川郷にて

## TOEFL iBT 初受験

外国語学部 英米学科 4年 **たけむら なつみ**  
**竹村 夏美**

【2012年2月～2012年11月】

オーストラリア・ラトロープ大学へ交換留学】

私の TOEFL iBT 受験のきっかけは、本学の交換留学試験に合格したからでした。平成 24 年度の交換留学生から、留学試験の合格後から留学出発までの間に TOEFL iBT または IELTS を受験しなければなりません。9 月上旬に留学試験の結果発表があり、オーストラリアのラトロープ大学に留学が決まった私は、翌年 2 月には日本を出発しなければならず、IELTS には間に合わないため TOEFL iBT を受験することにしました。本学の留学試験のために TOEFL ITP の勉強はしていたので、IELTS よりは TOEFL iBT の方が勉強もしやすいのではないかと考えました。

今まで TOEFL ITP しか受験したことがなかったので TOEFL iBT の基準がいまいちわからなかったのははっきりとした目標設定はしていませんでした。しかし、オーストラリアに出発する前に TOEFL ITP のスコアで 500 はほしかかったので、それと同じくらいのレベルを目指すことにしました。9 月の初旬に留学試験の合格発表があり、今ではそこから TOEFL の勉強をする時間はたくさんあったと思うのですが、その当時は大学の課題やアルバイト、そしてラトロープ大学への入学許可やビザの申請手続きにも追われており、あまり勉強できていませんでした。10 月くらいから TOEFL ITP の勉強も兼ねて、平日のアルバイトがない日などは大学の図書館に遅くまで残って勉強したりもしましたが、1 日に 1～2 時間の日もあれば、3～4 時間する日もあるといった感じで勉強した日としていない日にばらつきがありました。

学習ツールは、TOEFL iBT にも対応している単語帳や試験 1 回分が載っている問題集を使いました。TOEFL iBT を受験する前に TOEFL ITP を何度か受験しており、リーディングとリスニングは兼ねて勉強していました。私が買った単語帳は、歴史や地理学、ジャーナリズムなどの分野ごとにひとまとまりの文章が載っており、その中で使われている単語を次のページで単語リストとして紹介し、理解度を問う問題やその分野の背景知識なども載せてあり使いやすかったです。また、私は飽きやすい性格でずっと勉強していられないので、あまり勉強する気がおきない時は好きな洋楽を聞いて一緒に口ずさんだり、映画を英語音声で見たりと、自分の好きなことで英語に触れるようにしていました。

結果は目標からほど遠いものでした。TOEFL ITP と違ってライティングとスピーキングの練習ももっとするべきだったと反省しました。今後 TOEFL iBT を受験するかは未定ですが、大学生活や留学で培った英語力を落とさないように年に 1 度は TOEIC を受験するなど勉強を続けていきたいです。



### TOEFL® (Test of English as a Foreign Language)

TOEFL® (Test of English as a Foreign Language) とは、英語を母国語としない人の英語運用能力を測るテストです。世界 130 カ国 9000 以上の機関が、英語圏の大学や大学院、専門学校等への入学に必要な英語力の証明のほか、奨学金や卒業の基準として利用している場合もあります。現在、日本でも TOEFL iBT (Internet-based Testing) というインターネット版 TOEFL® が公式テストとして実施されています。

TOEFL iBT は、Reading, Listening, Speaking, Writing の 4 セクションで構成され、所要時間は 4 時間半程度です。スコアは偏差値方式で計算され、セクション毎のスコアを 0～30、トータルスコアを 0～120 で算出しています。一般的に、4 年制大学への入学には 61～80 の点数が必要であると言われています。

## IELTS 受験記

外国語学部 英米学科 5年 **はらぐち りえ**  
**原口 理衣**

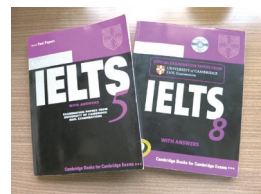
【2012年9月～2013年5月】

イギリス・リバプールジョンモーズ大学へ交換留学】

私が IELTS を受験した理由は、イギリスへの海外留学に必要な VISA 取得の条件を通過するためでした。ただ VISA を取得するためだけでなく、結果が高いほど留学先でいろんな授業を受講できるので、目標スコアは全科目 6.0 でした。また VISA 取得に必要なスコアはイギリス政府がたびたび変更するので 5.0 以上は取得しておきたいと思っていました。今まで TOEIC や TOEFL、英検を受験した事はありませんでしたが、IELTS は今回が初めての経験で、問題内容も特殊でした。実際の留学先の授業に必要な聞き取りや読み取りのほかに自分の意見を伝えることが加わります。試しに問題集で解いてみると、記述問題や速読問題、スピーキングでの会話で躓きました。

私は、勉強では主に公式問題集を使用して勉強しました。実際の問題に近く、問題への対策を練る事が出来ました。また、スピーキングやライティングの練習には根気よく先生に付き合ってもらいました。ライティングの練習では長く早く正確に書く練習、文法の正確さ、文章表現力を重視しました。同じ表現でもさまざまな異なる言い回しを心掛けました。スピーキングの練習では難しい言葉話すのではなく、自分の意見をいかにすばやくまとめるかを重視しました。時間内に自分の意見に起承転結を付けて話すことが、最初の課題でした。そのあとは、面接官の質問を正確に聞き取り、質問にきちんと沿った内容の回答をすることが難しく思えました。リスニング対策には、メモを素早くとる事に気をつけました。比較的簡単なので、記述のスペルミスやイギリス英語に聞き慣れておくことが大切だと思います。リーディングは、英字新聞の記事が同じくらいの文章なので読んでいました。また、時間配分を考え、1 題 1 題の目標速度より 2、3 分ほど早く読み終わるように心掛けました。試験は長く、一度にリスニング、リーディング、ライティングの試験が 3 時間強続くので集中力が必要でした。また、なかなか全科目スコア 6.0 は難しく、どれか一つだけ低いスコアだったりして、っかりすることもありました。また自分自身ではライティングやスピーキングに手こたえを感じる事が出来ず、行き詰ることも多々ありました。しかし、徐々に自分が書きたいこと、言いたいことを出す事が出来るようになるのが実感できて来て、頑張り続ける気持ちが生まれました。

次の目標はスコア 6.0 を取りたいと思います。海外の大学に通用するという確固たる証明になりまし、自分の自信にも繋がると思っています。



### IELTS (International English Language Testing System)

IELTS とは、留学や海外移住に必要な英語力を評価する試験として、現在 135 カ国、約 7,000 の教育機関、国際機関、政府機関が認定している英語運用能力試験です。

試験は目的に応じて 2 種類あり、大学や大学院において英語を学びたい方は入学できるレベルに英語力が達しているかどうかを評価するアカデミック・モジュール (ACADEMIC)、学業以外の研修や移住申請を考えている方はジェネラル・トレーニング・モジュール (GENERAL TRAINING) を受験するのが一般的です。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの 4 つで構成されており、合計所要時間は約 2 時間 45 分です。結果は 1.0 から 9.0 のバンドスコアで示され、合格、不合格はありません。4 つのパートごとのスコアと総合評価としてのオーバオール・バンド・スコアが与えられます。日本での試験は全国 13 都市で毎週実施されています。

なお、イギリス出入国審査の基準変更 (2009 年 3 月 31 日より) に伴い、イギリスのビザ申請をする方は IELTS の成績証明書原本の提出を求められる場合があります。



## TOPIK 6 級合格までの道のり

外国語学部 東アジア学科 4年 **いわした ももこ**  
**岩下 桃子**

【2012年3月～2013年2月 韓国・大田大学校へ交換留学】

私は2012年3月から2013年1月まで韓国に1年間留学していました。留学中、韓国で3回 TOPIK を受けてきました。その3回目の2013年1月、6級に合格しました。留学前は自分が6級に合格するなんて想像もつきませんでした。私は留学したからこそ、6級に合格できたと思います。

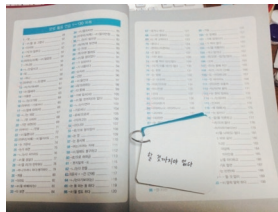
私は留学してから TOPIK に懸命に取り組み始めました。留学前も受けたことがありましたが、それほど力を入れていませんでした。しかし、留学するにあたって大きな目標を立てようとしたとき、やはり語学力を証明できる TOPIK の最高レベルである6級合格を目指して頑張ろうと決めました。

留学前の私は2級しかもっていませんでしたので初級レベルでした。そのため、まず中級レベルである4級合格を目標にしました。この4級合格のために学校で行われた TOPIK 特別講義に参加しました。韓国語での授業だったため、理解するのが大変でしたが、作文の添削などもあり、自分でできない対策ができたため、1回で4級に合格することができました。

4級に合格したので、次は高級レベルの6級を目指して勉強しました。1回目の試験では5級にも合格することができず、高級レベルの壁を感じました。しかし、2回目は留学最後のチャンスであり集大成だと思い、気合を入れて取り組みました。中級のときのように TOPIK 特別講義がなかったため、自分で勉強するしかありませんでした。部屋だとあまり集中できなかったため、図書館に行ったり、カフェで勉強しました。教材は韓国で買った TOPIK 対策の参考書(すべて韓国語で書かれているもの)を主に使いました。また過去問題集をたくさん解き、問題の出題傾向や頻出単語などを分析しました。作文は韓国人の友達に添削してもらいました。そして中級と高級のいちばんの違いは文法対策の方法でした。中級は特に対策しなくても解けていましたが、高級は今まで見たことのない、全く知らない文法がたくさん出てくるので文法を覚えないと5級合格も厳しい状態でした。そのため文法カードを自分で作り、高級に頻繁に出てくる文法、約150個を徹底的に覚えめました。そのおかげで6級に合格できました。

高級になると急に難しくなるため、解いても全く分からなかった最初の時期は正直投げ出したくなることもありました。そんなとき、私はモチベーションを維持するために常に目標を掲げていました。しかし漠然とした目標ではなく、具体的な目標を掲げることを意識して勉強していました。

次の目標は韓国語の語学力をさらに向上させ、TOPIK で高得点での6級合格やハンゲル能力検定試験に挑戦することです。



参考書と自作の文法カード

### TOPIK (Test of Proficiency in Korea 韓国語能力試験)

TOPIK (韓国語能力試験) は、大韓民国政府が認定・実施する唯一の韓国語試験です。韓国語の教育評価を標準化し、韓国語を母語としない韓国語学習者を対象に、日本を含む世界35カ国で毎年試験はほぼ同時期に実施されています。この試験は、韓国語の効果的な学習方法の提示から成果の測定、或は韓国内の大学企業・公共機関などへの留学・就業に際しての活用を目的とされています。

2006年度から、従来の1～6級の6等級に分かれた受験システムから初級・中級・高級の3レベルに分かれて受験し、成績に応じて合格級に振り分けられるシステムに移りました。試験内容は、語彙及び文法、書き取り(短文記述、自由作文含む)、聞き取り、読解の4分野で構成され、各100点満点、合計400点で評価されます。試験4分野のそれぞれの点数が及第点に達した場合に、その級の合格が認められます。試験は、日本では年に2回(4月・10月)実施されています。

## HSK6 級取得に向けて

経済学部 国際経済学科 4年 **いで たか のり**  
**井手 孝則**

【2012年3月～2013年2月 中国・北京外国語大学へ交換留学】

なぜ僕がHSK6級を受けようと思ったのか：試験を受けるに至った経緯として、まず私自身中国語を学び始めて2年半でどの程度の中国語の知識を身に付けたのかという、証明をしたいと考えました。また自身の語学力の再確認を行うことで、次のステップに進むための目的の設定にも繋がると考えました。

試験までの学習プランの設定：単語や文法など勉強し始めて、脳にしっかり記憶されるまでに3ヶ月はかかる一般的なと言われていました。そのため私は試験日が3ヶ月後のものを受験しました。基本的に私が試験のために行った勉強方法は以下の3通りです。

- ・興味のある番組、映画の鑑賞
- ・リスニングテキストの音読と読解
- ・対策のテキストの読解

これと比べて特に勉強らしい勉強は行なっていません。ただ重要なことは、試験対策とは飽きやすいものです。1日の数十分でも中国語を学ぶことが「継続は力なり」というように自身に知識を蓄えることが試験合格への鍵となります。詳しい勉強方法を説明します。

まず番組や映画鑑賞はリスニング力の向上に繋がるとともに、日常生活で使われる会話を学ぶことができるので楽しみながら勉強できることに意味があります。(電子辞書など必要に応じて使用)スマートフォンでも見られるので、いつでもどこでも中国語と触れ合える点では便利な勉強方法だと考えます。二つ目にリスニングテキストの音読と読解。この勉強方法はオススメです。なぜならば、読解のテキストではできない単語の発音を確認しながら、問題を解くという一石二鳥になるからです。読解のテキストを使用すると単に問題を解き続けなければならないので非常に疲れます。目と脳による問題処理と、目と耳、脳を使っている問題処理とは、疲労感が違います。あくまで私はこの方法の方が、単語を記憶しやすいと考えます。三つ目は試験前1ヶ月に行います。この目的としては試験になれるというところがミソです。HSK6級に関して、市販のテキストは内容が簡単すぎて全くためになりません。実際試験を受けた時、試験内容はテキストの内容よりも遙かにレベルが違いました。皆様も勉強する際は、中国語検定2級以上のレベルのテキストを使用して試験対策することをオススメします。

モチベーションの維持に関して：勉強方法でもありますがように、疲れたと感じたら、勉強ではなく、中国の番組や映画などを見ることをオススメします。

今後の目標：私は今回の6級取得を通して、次の目標は中国人になることです。中国語は一つの単語に山のようには意味があることで複雑であったり、発音が難しいといった、中国語学習者に対して高い壁があります。その高い壁はこれから社会人になるに当たって、これまで以上に高くなると思います。しかし「時は金なり、継続は力なり」の昔からの諺を信じ、空き時間を有効活用し、さらに自身の語学力の向上に繋がれば幸いです。



### HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi 漢語水平考試)

HSK 漢語水平考試とは中国語教育委員会が認定する中国語能力認定試験です。中国語を母語としない人の中国語能力を測るために作られています。試験は、筆記試験(1級～6級)と会話試験(初級、中級、高級)があり、各レベルの評価は級別スコア制を採用しています。

HSK 証明書は、長期有効で、中国留学(中国の大学に入学するための中国語能力証明としては、有効期限は受験日から起算して2年です)の際の評価基準として、また日本においても就職・転職の際に企業が語学能力を把握する指標としても活用されています。

現在、中国国内及び海外88カ国で試験が実施されています。世界統一基準で中国語を測定されるため、世界のどの地域でも中国語能力に対する適切な評価を受けることができます。日本においては、全国主要都市で、年に4回実施されています。

## 江津湖の春、夏、秋、そして冬

大田大学校 キム 金 ウン 應 ス 洙

【2013年3月～2014年2月 韓国・交換教員】

エズコの 봄 여름 가을 그리고 겨울

김응수

3월 첫 주에 도착한 구마모토의 첫인상은 기대한대로 조용한 전원도시의 모습을 그대로 나타내고 있었다. 30년 가까이 지속된 연구와 교육의 일상에서 잠시 벗어나 힐링과 재충전의 의미로 시작된 구마모토 생활은 자동차도 휴대폰도 없는 조용한 일상의 나날이었다. 구마모토라고 하면 가장 먼저 구마모토 성을 떠올리는 사람들이 많겠지만, 나에게서는 구마모토 성보다는 에즈코가 가장 기억에 남는 장소라고 말할 수 있다. 다행스럽게 내가 살고 있는 집에서 에즈코까지는 그렇게 멀지 않다. 요즘 건강을 위해서 많이 걷는다고 하는데, 바로 기분 좋게 걸어갈 수 있는 거리이다. 가는 도중에 에즈코로 흘러 들어가는 조그마한 하천을 지나는데, 팔뚝보다 더 굵은 물고기가 떼지어 놀고 있고 이 물고기들에게 먹이를 주는 즐거움이 쏠쏠하다. 깨끗한 물에 노니는 큰 물고기를 보면서 이렇게 깨끗하게 수질을 관리한 이들의 노고를 다시 한번 생각한다.

넓은 녹색의 잔디밭과 깨끗한 호수 그리고 흐드러지듯 만개한 벚꽃으로 둘러싸인 봄날의 에즈코는 이 세상이 이렇게 따뜻하고 온화하고 평온할 수 있구나 하는 생각이 들게 한다. 마치 무릉도원에 온 것 같은 느낌이다. 가족이나 친구들과 함께하는 벚꽃나무 아래에서의 식사도 봄의 풍경에 빼놓을 수 없는 경치이다. 구마모토의 여름은 더운 편이다. 한 낮의 열기는 견디기 힘들 정도로 뜨겁다. 그러나 이 여름을 즐겁게 지낼 수 있는 마법의 요정이 에즈코에는 숨어 있다. 해가 진 저녁시간 에즈코를 걷다 보면 어둠 속에서 날고 있는 불빛들을 발견한다. 어릴 적 보았던 바로 그 반딧불이다. 아련한 기억 속의 반딧불의 추억을 맘껏 누리다 보면 어느새 여름은 저만큼 비껴가고 있다.

오랜만에 선선한 바람이 분다. 느끼지 못하는 순간에 가을이 성큼 나의 곁에 와 있다. 붉은 색으로 물든 나무들과 이적도 녹색을 그대로 간직한 잔디밭, 호수 위를 날고 있는 새들과 잔잔한 호수의 풍광은 나를 시인으로 만들기도 한다. 가을 날의 에즈코는 세속을 떠난 수도승처럼 경건하고 소박한 꿈을 꾸며 호사스럽지 않은 일상에 감사하는 마음을 내게 준다.

혹독한 추위가 없는 이곳은 눈이 쌓이는 일이 별로 없단다. 나는 눈 덮인 에즈코를 상상한다. 호수가 얼고 그 위에 눈이 쌓여 있고 온 천지가 하얗게 물든 그런 에즈코를 그려본다. 멋있을 거라고 생각한다. 그러나 비록 눈이 없어도 에즈코의 겨울은 여전히 아름다운 자태를 뽐내고 있다. 먼 곳에서 날아온 오리와 백로, 이름 모를 많은 새들로 에즈코는 언제나 가득하다.

에즈코의 백미 중 하나는 물총새를 보는 것이다. 반딧불처럼 일정한 구역에서 관찰할 수 있는 희귀 새이다. 이들을 사진에 담으려고 아침부터 카메라로 무장한 사람들이 늘 대기하고 있는 모습을 볼 수 있다. 물총새는 파랑새목에 해당하는 새이기에 나는 나름대로 “행복의 파랑새”라고 생각한다. 이 새를 보면 행복해진다는 사실을 스스로 만들어 놓고 내심 이 새가 내 눈에 띄기를 기대한다. 하루 종일 이 새를 찍기 위하여 기다리는 사람도 있는데, 나는 에즈코 산보 중에 이 새를 몇 번이나 보았다. 정말 행운이 아닐 수 없다. 그리고 이 새를 보면 행복해진다는 근거 없는 나만의 믿음이 정말로 실현되고 있음을 구마모토에서의 일상 속에서 실감해 본다.

에즈코! 이 아름다운 자연을 만들고 가꾼 이들에게 경의와 감사를 표하며 오랫동안 잊혀지지 않을 추억의 명소로 나의 가슴에 오랫동안 남아있을 것이다.

3月初旬に到着した熊本の第一印象は、期待した通り静かな田園都市の姿そのままであった。30年近く続けてきた研究と教育の日常をしばらくはなれ、ヒーリングと再充電の意味で始まった熊本での生活は、自動車も携帯電話もない静かな日常の日々となった。

熊本といえば、なによりも熊本城を思い浮かべる人が多いが、私は熊本城よりも江津湖が最も記憶に残る場所だと言える。さいわい私が住んでいる家から江津湖は、さほど遠くない。最近健康のためたくさん歩くことにしているが、すぐに気持ち良く歩いていくことのできる距離だ。行く途中に江津湖へ流れ込む小さな河川を過ぎるが、前腕よりさらに太い魚が群れをなして遊んでいて、この魚たちに餌を与える楽しみがなによりもよい。きれいな水に戯れる大きい魚たちを見ながらこのようにきれいな水質を管理してきた人々の労苦をあらためて考える。

広い緑の芝生ときれいな湖、そしてみごとに満開となった桜の花で囲まれた春陽の江津湖は、わが世がこんなに暖かくておだやかで平穏でいられるなあという気がするようになる。あたかも桃源郷に来たかのような感じた。家族や友人らと共にする桜の木の下での食事もある春の風景にかかせない景色だ。

熊本の夏はあつい。昼間の熱気は耐えられないほど暑い。しかしこの夏を楽しく過ごすことができる魔法の妖精が江津湖には隠れている。日が沈んだ夕方の時間、江津湖を歩いてみると、暗闇の中を飛び交う複数のあかりを発見する。幼い頃に見たことのある蛍の光に違いない。ぼんやりとした記憶の中の蛍の光の思い出をこころゆくまで享受していると、いつのまにか夏の日差しがななめから射し込むようになっていた。

久しぶりに涼しい風が吹く。気付かないうちに秋がつかつかと私のそばに来ていた。赤い色に染まった木々と緑色をそのまま大事に保管した芝生、湖の上を飛んでいる鳥と穏やかな湖の風景は、私を詩人にさせることもある。秋の日の江津湖は、世俗を離れた修道僧のように敬謙で素朴な夢を見る、贅沢ではない日常に感謝する思いを常に感じさせる。

苛酷な寒さがないここ熊本では、雪が積もる日はさほどない。私は、雪に覆われた江津湖を想像してみる。湖が凍りその上に雪が降り積もっていて、あたり一面真っ白に染まったそんな江津湖を思い描いてみる。素晴らしいと思う。しかしたとえ雪がなくとも江津湖の冬は、依然として美しい姿を誇っている。遠方から飛んできた鴨とシラサギ、名前もわからない多くの鳥で江津湖はいつもいっぱいだ。

江津湖の白眉の中の一つは、カワセミを見ることだ。蛍の光のように一定区域で観察できる貴重な鳥だ。これらを写真におさめようと朝からカメラで武装したマニアがいつも待機している姿を見ることが出来る。カワセミは、青い鳥目に属する鳥なので、私は自ら「幸福の青い鳥」と考えている。この鳥を見れば幸せになるという事実を自ら作って置いて、心の奥でこの鳥が私の目につくことを期待しているのだ。まる一日費やし鳥を撮るために待つ人もいるが、私は江津湖散歩中にこの鳥を幾度も見た。本当に幸運に違いない。そしてこの鳥を見れば幸せになるという根拠のない私だけの信念が本当に実現されていることを熊本での日常の中で実感している。

江津湖! この美しい自然を作り育てたものに敬意と謝意を表し、永遠に忘れられない思い出の名所として私の胸に永らく残ることだろう。



江津湖にて



# 熊本の思い出

深圳大学 董 國 民

【2013年3月～2013年8月 中国・交換教員】

## 熊本の記憶

董 國 民

今年3月、処理完家中的の喪事、我一个人来到了我从未到过的熊本。这里的一切我陌生似乎又熟悉。原因是熊本是我曾经生活和工作的国度—日本西南部九州的城市，来此的目的是到熊本学园大学作为一名交流教师。

3月の九州、天气尚存一丝寒冷。走出机场，面对众多生疏的面孔和陌生的环境，不禁心中有一种莫名的忐忑，我急切地寻找一个似曾熟悉的声音。其实，熟悉声音也就是之前办理来日手续时，与学园大国际教育課の切通女士打过电话而已。正在我彷徨之时，切通女士和北原女士面带微笑迎了过来。寒暄之后，感谢她们特意从熊本赶来接我，并在此已经等候多时。

8月25日，也是我要离开熊本的日子。熊本学园大学为我特意安排了去机场的面包车。我记得那天雨下得特别大，比起瓢泼大雨真是有过之无不及。一大早，切通女士、朋友路青夫妇赶来送行。来到楼下，门前已经聚集很多人。由于雨大，径直上了车，回头望去，我被眼前的一幕惊呆了。雨中，国际教育課稻叶课长、清田先生等人在挥手告别。来不及寒暄，汽车已经开动，望着渐渐远去的人群，车外的雨水模糊了我的视线……。

现已记不清与同车送行的切通女士谈话，依稀记得车在滂沱的雨水中带着我北行。是的，新的学期即将开始，新的工作还在等待着我，我就要踏上归国的飞机。眼前这一切都将永远停留在记忆里。在夏末的暴雨中，我的交流教师生活就这样结束了。从最初的惶恐不安，到逐渐适应，再到临走时的依依不舍，半年的交流生活，经历和感受颇多。

熊本学园大学校园小巧精美，各种建筑错落有致，一尘不染。路旁、空地，甚至每一个适合的角落都被种上了植物，各种花草似乎恰逢其处地找到了自己的位置。夏日的校园，林荫楚楚，完全没有骄阳躁扰。与其他校园一样，这里也是青春的世界，学生奔放开朗。在餐厅，他们活泼吵闹，叽叽喳喳，有那么多的话要对朋友说；社团活动中，他们充满活力又尽职尽责；在图书馆里，他们安静而认真。每当夜幕降临，淡淡的灯光通过点滴的绿叶，洒向校园，给人一种静谧的感觉。

半年的时间是短暂的，我记忆中的熊本城、江津湖、阿苏火山似乎在渐渐地淡薄。然而，切通女士，北原女士、稻叶课长、大泽先生、清田先生、李珊老师、冯老师以及许多人士的笑容却依稀可见。

虽然工作繁忙，但我依然时常想起熊本的点点滴滴。感谢这些记忆，它让我真切地经历了熊本的生活，感受到了熊本人的热情，也重新认识了自己。我相信这些记忆可以驱走冬季的严寒，让人感受到春天的温暖。熊本的经历也必将成为生命中值得珍藏的一页。

今年3月、家の葬儀が済んだところで、私は単身、未だ訪れたことのなかった熊本にやってきました。ここの全ては私にとって馴染みがない様でもあり、またよく知っている様でもありました。それは、熊本が、私がかつて働き暮らしたことのある国、日本の西南にあたる九州の一都市だからなのだと思います。今回の来日の目的は、熊本学園大学で交換教員を務めるためでした。

3月の九州は、まだ肌寒さが残っていました。ゲートを出てすぐたくさんの見知らぬ顔やよく知らない場所を前になんとも言えない落ち着かない気持ちを禁じえませんでした。私は、すぐにかつて知っていたかのような声を探しました。実は知ったその声といっても、渡り前の手続きの折、学園大国际教育課の切通さんと電話で話していたというだけのものにすぎません。さまよっているところに、切通さんと北原さんが微笑みながら迎えてくれました。挨拶をかわし、二人がわざわざ熊本から迎えに来てくれたこと、もう長い時間待っていてくれたことに感謝した次第でした。

8月25日、この日私は熊本を離れることになりました。熊本

学園大学は、空港までのマイクロバスを手配してくださいました。確か、あの日は雨がとても強くて、土砂降りの大雨そのものでした。朝早くから、切通さんと友人の路青夫婦が見送りに来てくれました。マンション1階に下りると、入口にはすでにたくさんの人が集まっていました。雨がすこかったのでそのまま車に乗り込んだのですが、後ろを振り向いてみると、目の前の光景に一瞬驚きあつげにとられました。この雨の中、国际教育課の稲葉課長、総務の清田さんらが手を振って別れを告げてくれていました。挨拶もできないまま、車は動きだし、徐々に離れていく皆さんを見つめている私の視線を、車のガラスにあたる雨が遮っていきました。

今では、車中での切通さんと話したこともはっきりしなくなってきました。ただ、雨が激しく降る中、車は北に向かっていたことはかすかに覚えています。そう、深圳大学での新学期がすぐには始まろうとしており、新しい仕事が私を待っているという状況で帰国の途につくことになったのです。目の前にあるすべては永遠に記憶の中にとどまるでしょう。夏の終わりの大雨の中、私の交換教員としての生活はこのように終わることになりました。最初の頃の不安から、しだいに慣れていき、いざ去ろうとする時には離れがたい気持ちに駆られていました。半年の交換教員の生活での体験と感銘を受けたことは非常に多かったと思います。

熊本学園大学のキャンパスは、小さくて精巧なものでした。建物は各々異なり趣に富んでいましたし、非常に清潔でちりひとつ落ちていません。道の傍らや空きスペース、それに適するコーナーがあれば必ず植物が植えられていました。たくさんの草花は、まるで自分にぴったりの居場所を見つけたかのような佇まいでした。夏の日々のキャンパス、銀杏並木は爽やかに、強い日差しにかき乱されることはありません。他校のキャンパスと同じように、ここも青春の世界であり、学生たちは皆闊達で朗らかでした。食堂では、彼らは元氣よく騒いで、よくもそんなに友達と話すことがあるものだというくらいガヤガヤとしゃべっていました。サークル活動では、彼らは活力に満ち溢れていて、自分の仕事を精一杯務めていました。図書館では、皆静かで真面目でした。キャンパスに夜のとぼりが降りると、外灯がかうつすらと緑の葉を照らし出す様子やキャンパスに水がまかされている様子は、私たちに静謐な感覚を与えてくれました。

半年の時間は短くて、私の記憶にあった熊本城や江津湖、阿蘇山はゆっくりと薄れていっているようです。しかしながら、切通さん、北原さん、稲葉課長、大澤さん、清田さん、李珊先生、馮先生、たくさんの方々の笑顔をはっきりと思い出すことができます。

帰国後、仕事は忙しくなりましたが、私はいまだによく熊本のことをぼつりぼつり思い出します。このような記憶に感謝しています。私が本当に熊本で生活をしていただいていたということ思い出させてくれ、熊本の皆さんの親切を感じさせてくれます。また自分を見つめなおさせてくれました。この思い出は、きっと冬の厳しい寒さを追い払い、春の暖かさを感じさせてくれるものになると信じています。熊本での経験は、私の人生において珍藏に値する一頁となるでしょう。



熊本城にて

## 私が好きになった街－熊本

深圳大学 何 微

【2013年9月～2014年2月 中国・交換教員】

深深恋上这座城－熊本

深圳大学 何 微

1994年秋天，我作为留学生第一次来到日本。2013年秋天，我再次踏上日本的国土，距离我最初留学的日子，将近20年。我又回到了大学校园，但是这一次，我是作为交换教师。

身份的变化，是我人生履历表上增加的页张，是我人生旅程中努力向前的脚步，也是岁月赋予我的使命感与责任感。

初到熊本，正好是夏末秋初，云淡风轻的阿苏山脉在不远处升起袅袅的云烟，天空每天都是湛蓝的。一进校门，林荫道两旁高大的银杏树枝繁叶茂，碧绿的树荫下，学生们来来往往。这是我喜欢的景象：青春朝气、静谧美好。

留学生时的我，坐在教室里上课时，看着侃侃而谈、生动有趣的老师们，我常幻想：将来的有一天，如果我能像他们一样，把自己内心沉淀多年的知识传授给年轻的学生，该多好。那是我作为一个留学生最初的梦想。

如今，作为一名老师走进熊本的大学教室，这是我当年梦想的实现。

熊本是一座安静美丽的城市，完全不同于我年少时曾久住的繁华大都市东京。也不同于现代化十足的我的家乡深圳。或许是年龄慢慢增长缘故，我一来到熊本就一下爱上了这座城市宁静的灵魂。

我喜欢漫步在熊本的城下町，与历史的街道邂逅，追溯夏目漱石、小泉八云的印迹，感知这座历经文化和历史洗礼的名城，在岁月中愈发醇香的味道。

我喜欢带着孩子，穿着 KUMAMON 的服装，去品尝一碗在中国家喻户晓的正宗熊本味干拉面，挑战我们从未吃过的马肉刺身。

我喜欢早早地踏着晨光来到学校，每天都会拿着手机拍校园里的各种风景。看着银杏树由绿变黄，再慢慢凋落，我才惊觉，半年的时光，竟是如此飞速。

我喜欢熊本，喜欢这座城市宁静的深邃，喜欢这里的人们亲切和善的笑脸，喜欢他们的日语方言上扬的尾音。

日子不知不觉地就过了好几个月，离开熊本的时间也越来越近。我的内心有很多留恋与不舍。这座馈赠于我实现梦想的城市，我感谢它。熊本，和熊本的一切，也必在我今后的梦中，不断地与我重逢。

还未离开，就已经不舍，这就是我对熊本深深的恋情。

1994年秋，私は留学生として初めて日本にやって来ました。2013年秋、私は再び日本の土を踏みました。最初に留学したときから、20年近く経とうとしています。私はまたも大学のキャンパスに戻ってきました。但し、今回は交換教員として。

立場が変わったこと、それは私の履歴書に更に一ページが加わったということであり、人生において、私が懸命に歩を進めているということであり、またそれは歳月が使命感と責任感を私に与えてくれているということでもあります。

初めて熊本に来たのは、ちょうど夏の終わりで秋が始まるころでした。清々しく晴れ上がった中にある阿蘇の山々は遠くないゆらゆらと立ち上っては消えていく雲の

中にあり、空はどこまでも青く広がっていました。大学の門をくぐると、両側に街路樹である背の高い枝葉の生い茂った銀杏並木が続いており、濃い緑の葉をつけた木陰の下を学生たちが行き交っていました。青春の活力に満ちていながら、静謐な美しさのあるこの風景が私は好きです。

留学生の頃、私は教室で授業を受けながら、悠然と語り、生き生きとした面白い先生方を見ながらよく空想したものです。将来、もし私も先生方のように長年にわたって蓄積した知識を若い学生に教え伝えることができればどんなに良いだろうか。それは私が留学生として抱いた最初の夢でした。

いま、一人の教師として熊本の大学の教壇に立ち、当時の夢を実現することになりました。

熊本は、静かで美しい街です。私が若い頃長く住んでいた大都市東京とは全く違います。また近代化が進み、何もかも満ち足りている私の故郷深圳とも異なります。年齢をゆっくり重ねてきたせいか、私は熊本に来てすぐにこの街の静かな魂を好きになりました。

私は、熊本の城下町をそぞろ歩くのが好きです。歴史的な通りに出会ったり、夏目漱石や小泉八雲の足跡をたどったり、また文化と歴史の試練を幾度も経験した名城には、歳月の中でますます芳醇になってきた味わいを感じることができます。

私は、子どもを連れて、くまもんの洋服を着て、中国津々浦々に知れわたっている本場の熊本味干ラーメンを食べに行くのが好きです。食べたことなかった馬刺しにも挑戦しました。

私は、朝早く学校に行くのが好きです。毎朝、携帯電話を手にキャンパスの色々な風景を写真にとっています。銀杏の木が緑から黄色に変わっていく様子や、ゆっくりとしぼみ落ちていく様子を見て、はじめてはっと気づきました。半年の時間は、こんなにも早く過ぎてゆくのかと。

私は、熊本が好きです。静けさに深みのあるこの街が好きです。この人たちの親切で温和で優しい笑顔が好きです。彼らが話す日本語の語尾が高く上がる方言が好きです。

知らず知らずのうちに数ヶ月が過ぎ、私たちが熊本を離れるときが少しずつ近づいてきています。心の中は、名残惜しく後ろ髪を引かれる思いでいっぱいです。このように夢を実現させてくれた街に私は感謝しています。熊本と熊本の全ては、これからの私の夢の中に必ず存在し、絶えず私と再会することになるでしょう。

まだ熊本を離れる時期はきていないのですが、もう離れたい気持ちに駆られています。これはつまり私が熊本に恋をしているということだと思います。



校門にて



## 買ったその日から乗れるクルマ

外国語学部教授 <sup>かみ もと ただ みつ</sup>  
神 本 忠 光

【2012年8月～2013年8月の1年間 交換教員としてアメリカ・モンタナ州立大学へ派遣】

米国モンタナ州立大学ボーズマン校に、交換教員として1年間滞在する機会に恵まれた。あまたの異文化体験の中から、車購入時のことを紹介する。

モンタナ州の南西に位置するボーズマンは、ロッキー山脈に囲まれた人口4万人弱の小さな町である。人々の一般的な移動手段は自家用車だが、公共のバスが数年前から走っている。お年寄りや車を持たない大学生が主な利用者である。そのため、大学が休みになると本数は極端に減る。無料だが、使い勝手が悪い。大学敷地内のアパートから町の中心街まで歩けば約30分。WalmartやSafewayなどの大型スーパーは町に点在している。複数のスーパーを歩いての買い物はまず無理である。まして半年は雪の中である。要するに、春夏秋冬、ボーズマンで車なしの生活は論外ということになる。ボーズマンに着いて、まず車を買うことにした。

1年の滞在なので、中古車で十分である。中古車店舗は郊外に多い。Google Mapで場所は確認できても、とても歩いて行ける距離ではない。車を買うに行くために、まずレンタカーを借りることになる。世界のトヨタ車を買う心積もりで、数店舗見て回った。すると、同じ年式の場合、アメリカ車より日本車の方が値段が高いことがわかった。愛国心が試される。車本体だけでなく、自動車保険に加入する必要もある。国際免許証という理由で、保険料が通常の2倍かかる。慣れない左ハンドル、右側通行である。アメリカには、「Right on Red」という交通規則がある。右折の場合、赤信号でも安全が確認できれば曲がってよいという、アメリカらしい合理的な道路規則である。モンタナ州には消費税がないと言っても、1年間安心して乗れるにはある程度の出費は必要だ。懐具合と相談し、アメリカ車を買うことにした。すべて

の費用を支払い、諸手続きが終わった。車はいつアパートに届けてくれるのかと尋ねた。お門違いの質問だった。仮ナンバープレートを付ければ、買ったその日その時から乗れると販売員はにこやかに笑った。

数週間後、役所から車の登録が完了したと通知が来た。出向くと、係員がどのナンバープレートがいいかと尋ねる。怪訝な顔をしていたのだろう、プレートの図柄に種類があると見本を見せてくれた。一番単純なのは、青地にモンタナ州の輪郭を白線で描いたものである。値段が高いのになると、モンタナ州を象徴する風物、例えばロッキー山脈や、カウボーイや馬などの絵などたくさんある。日本でも、例えば熊本の場合、阿蘇山や熊本城、あるいは、くまモンのデザインでも取り入れたら、楽しくなるかも知れない。ちなみに、モンタナ州では、ナンバープレートは車の後ろだけでも構わない。正式なナンバープレートをつけたフォードの中古車は、1年間故障なく走り続け、愛車となった。





## 華麗な外出 I

経済学部教授 **朴 哲 洙**

【2012年8月～2013年8月の1年間 交換教員として韓国・大田大学校へ派遣】

韓国・大田大学校で1年間過ごすことは、いろいろな意味のあることであった。30年ぶりに韓国に長期的な滞在をすることは、時代の変化を感じる経験となった。居場所大田：両大学の交流の歴史は長い。私が大田大学校を初めて訪問したのは国際経済学科の海外研修の折。初の引率者として40名程度の学生をつれてきた20年前であった。その後大田大学校は急速に発展し、その当時の姿は見られず、世界的な建築家が設計したという珍しく、また印象的な開校30周年記念館（本館）と恵和文化館が私を待っていた。ありのままの自然、山の傾きを生かして立てられた小さな都市のような記念館は、耐久性に優れ、塗装なしで使えるコルテンとガラスを外装仕上げ素材として存分に活用した現代アートの建築は、映画撮影の場所としても知られ韓方病院の建物とともに全国的に知られているようだ。最初の訪問の時と比べると驚くほど様子が変わっていた。キャンパスに郵便局やカフェがあり、また図書館内にもカフェ形式の階層があり、カフェを飲みおしゃべりしながら自由に勉強や休憩できる新しい発想の空間もあった。インテリアや空間構成など新鮮であった。さらに教職員向けに豆から即時に淹れてくれる無料のカフェの価値は、文字通りPricelessであった。大学の企画支援により毎月学内で開かれる多様なジャンルのプログループが出演する音楽会は、大学の文化芸術に対する方針を示す開放的な雰囲気であった。新学部（英語で授業し1年留学付きの「グローバル融合学部」）開設のために開催された多くの教職員が参加する報告会や討論会に招待されて、厳しい時代を迎える地方大学の前向きかつ賢明な構成員の努力とリーダーシップが感じられた。

授業：授業は日本語や韓国語さらに英語も使うことがありトリプルになった。秋学期には日本語学科向けの文化論を担当したが、ビジネスや経済などのトピックをいながら日常生活に関係の深い映画、放送、アート芸術などのコンテンツ産業分野を比較する、いわゆる創造文化経済論のような内容を学生とともに議論した。春学期には経済学科からの要請もあり国際金融論を教えた。経済学

専攻の学生に教えることと就活中の4年生が多かったこともあり、義務である兵役も終わり社会に出る直前の若い人と接することで、新世代の動向を理解する経験となり、よかったと思う。

古い友人：竹馬古友と会う機会があり過去にもどりの自分を見つめる有益な時間だった。歳をとるにつれ、昔の友人との付き合いや集う様子も多様であった。韓国科学技術院（KAIST）に勤める友人や研究集積地である大徳地域に勤めるアメリカ留学時代の同窓会にも参加し、異分野の交流でいろいろと刺激を受けた。人工衛星の専門家、天文学物理学者、産業工学者らがマッコリを交わしながら語る未来技術と国際政治経済関係の話題は、つまみがないほど面白い場面であった。古い友人からは環境の変化により変わらぬ本質と熱意が感じられた。

家族：長い年月離れた両親や兄弟との時間、その時しかもらうことができない偉大なプレゼントになった。自分自身も還暦を迎える歳になりつつあることを考えると、実家の書斎の奥深いところに眠る写真集から両親とともにいた時の様子が映画のようにカラフルに表れた。

感謝：日韓・学内外の古い友人・知人のお陰で今回の華麗な外出ができたと思う。変わらぬ励ましと関心にお礼を申し上げたい。また、どこでもいつでも正々堂々生きる勇気をくださる両親と家族に感謝を捧げたい。



授業の実習見学に行った大田市立美術館・Lee UngNo Museum の作品「人間（群衆）」の前、学生リーダーらと共に。

# 国際交流 写真館



Sports Festival



Kumamoto City Fire Service



Welcome & Farewell Party



Field Trip to Gokase & Takachiho



Ekiden



International Students Symposium





## 平成 25 (2013) 年 海外往来

	派遣プログラム	受入プログラム
1月	深圳大学 (谷方秀美)、北京語言大学 (竹原僚一)、北京第二外国語学院 (河村拓也)、北京外国語大学 (井手孝則)、大田大学校 (佐藤由貴、田中優衣、岩下桃子) 帰国	
2月	大田大学校 (岡部彩夏、坂梨紗也加)、深圳大学 (山崎誠) 帰国 北京第二外国語学院 (坂口絵美)、深圳大学 (富高ありさ、森田昌幸)、北京語言大学 (山平千晶) 出発	大田大学校 (金景玟、金榮雨、孫浩然、安東慶、全韓植、蔡熙眞)、北京第二外国語学院 (張清杰)、クライストチャーチ・ポリテクニク工科大学 (ケーデンス・ベドフォード) 帰国
3月	大田大学校 (藤田皆人、高本詩帆、中島早貴、園田真央、加藤環、椎原真子) 出発 リバプールジョンモーズ大学 (植原好史) 帰国	深圳大学 (張小曼、王虹雲)、ベトナム国家大学ハノイ校 (ディンティトゥー) 帰国 大田大学校 (金永煥、金昇賢、張朱希、文多彬、安チョへ、李昭潤)、深圳大学 (黄妙冰、江山)、北京第二外国語学院 (蘇文怡)、崑山科技大學 (黄聖博)、ベトナム国家大学ハノイ校 (グエンティフエン) 来熊
4月	セント・メアリーズ大学 (山田玲実) 帰国	
5月	モンタナ州立大学 (高柳吉乃、前川彩乃、守田美里)、キャロル大学 (茨木彩月)、インカーネットワーク大学 (林明日香)、セント・メアリーズ大学 (原田結佳) 帰国	
6月	インカーネットワーク大学 (花田朗寿) 帰国	
7月	リバプールジョンモーズ大学 (原口理衣)、崑山科技大學 (小北花子) 帰国	
8月	モンタナ州立大学 (神本忠光先生) 帰国 大田大学校 (朴哲洙先生) 帰国 モンタナ州立大学 (山田頭大、小野千尋)、インカーネットワーク大学 (櫻木かおり)、セント・メアリーズ大学 (松隈由佳、松枝岬) 出発 夏期国際教育プログラム [セントラル・ランカシャー大学 (10名) 8/8 ~ 9/2]	モンタナ州立大学 (テリー・マクアリスター、アダム・バルツ)、カールトン大学 (トニー・ディン)、リバプールジョンモーズ大学 (ライアン・キレン)、セントラル・ランカシャー大学 (ヘザー・フレーザ、サム・デイビス、ミア・コレット)、チュラロンコーン大学 (タナナン・ダンパチック) 帰国
9月		モンタナ州立大学 (ステイカス・トウ、パトリック・アンダーソン、ジェームス・シャーマン、グリフィン・ハム)、インカーネットワーク大学 (ジョン・エスパーザ)、セント・メアリーズ大学 (ダニエル・フルーリ、グレン・エイキンズ)、セントラル・ランカシャー大学 (ナイル・クリエン、エミリー・ショルテリ、ジェームス・ハワード)、ラトロップ大学 (マーク・ドラグウィッジ)、チュラロンコーン大学 (ナヤマイ・ラッキヤットウォン)、崑山科技大學 (徐郁嬰) 来熊
10月		
11月		
12月		

## 平成 25 (2013) 年度 研修団往来

〈派遣〉

研修団名	研修期間	期 間	研修・派遣先	団員数
経済学部国際事情研修 ニュージーランドコース	8月 7日 (水) ~ 9月 1日 (日)	26日間	ユニテック工科大学	10名
外国語学部海外研修アメリカコース	7月 21日 (日) ~ 8月 19日 (月)	30日間	ベセル大学	19名
外国語学部海外研修韓国コース	7月 29日 (月) ~ 8月 24日 (土)	27日間	梨花女子大学校	34名
外国語学部海外研修中国コース	8月 3日 (土) ~ 8月 30日 (金)	28日間	吉林大学	16名
第 14 回大田大学校学生代表团	8月 7日 (水) ~ 8月 9日 (金)	3日間	大田大学校	学生 14名、 引率 3名

〈 海外への派遣学生数 〉

	派遣先大学名	平成 25 (2013) 年度			平成 24 (2012) 年度まで			
		交換	短期交換	サマーP <sup>*2</sup>	交換	短期交換	HSP <sup>*1</sup>	短期派遣
アメリカ	モンタナ州立大学	2			63			25
	モンタナ大学				21			
	キャロル大学				29			22
	ロッキーマウンテン大学							4
	インカーネットワード大学	1			30			
	アワーレディオブザレイク大学 (熊本市交流事業)				7			
	ウィスコンシン大学オークレア校				10	2		
カナダ	セント・メアリーズ大学	2			24	2		
	カールトン大学				10			
イギリス	リバプールジョンモーズ大学				41	11		91
	アルスター大学				8			19
	セントラル・ランカシャー大学			10				
フランス	リヨン商科大学				2			
	ボワチエ大学				1			
ドイツ	ラインランド・プファルツ州立経済大学							16
オーストラリア	ラトロープ大学				27	1	124	
ニュージーランド	ユニテック工科大学				26	7	103	14
	クライストチャーチ・ポリテクニク工科大学							
韓 国	大田大学校	6			67			
中国語圏	深圳大学	2			50			
	中国人民大学				8			
	北京外国語大学				11			
	北京語言大学	1			10			
	北京第二外国語学院	1			7			
	広西師範大学 (熊本市交流事業)				9			
	崑山科技大學				1			
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校				6			
タ イ	チュラロンコン大学				4			
	合 計	15	0	10	472	23	227	191

\*1: 短期語学ホームステイプログラム  
\*2: 夏期国際教育プログラム

※注 1 網掛けの協定校は、現在交流を行っていない大学  
 ※注 2 短期派遣留学 (2ヶ月派遣) は、平成 18 年度をもって終了  
 ※注 3 短期交換留学 (1学期派遣) は平成 20 年度開始  
 ※注 4 短期語学ホームステイプログラムは平成 24 年度以降実施なし  
 ※注 5 夏期国際教育プログラム (1ヶ月派遣) は平成 25 年度開始



## 平成 25 (2013) 年度 出身国・地域別外国人留学生数

## 春学期

(5月1日現在)

国籍 (国・地域名)	学部学生					研究生			大学院生						交換 留学生	合計
	1	2	3	4	計	学部	院	計	1	2	博1	博2	博3 以上	計		
アメリカ															2	2
イギリス															3	3
カナダ															1	1
韓国										1				1	6	7
中国	10	8	9	9	36	2	1	3	2	7	0	1	3	13	3	55
台湾									1					1	1	2
タイ															1	1
ベトナム															1	1
合計	10	8	9	9	36	2	1	3	3	8	0	1	3	15	18	72

【8カ国・地域 72名】

※ 「留学」の在留資格を持っている学生のみ。休学者を含む

## 秋学期

(10月1日現在)

国籍 (国・地域名)	学部学生					研究生			大学院生						交換 留学生	合計
	1	2	3	4	計	学部	院	計	1	2	博1	博2	博3 以上	計		
アメリカ															5	5
イギリス															3	3
カナダ															2	2
韓国										1				1	6	7
中国	10	8	9	8	35	1	1	2	2	5	0	1	3	11	3	51
台湾									1					1	2	3
タイ															1	1
ベトナム															1	1
オーストラリア															1	1
合計	10	8	9	8	35	1	1	2	3	6	0	1	3	13	24	74

【9カ国・地域 74名】

※ 「留学」の在留資格を持っている学生のみ。休学者を含まず

## 平成 25 (2013) 年 留学生参加行事

名 称	主 催	内 容	期 日
第39回学長杯争奪駅伝大会	熊本学園大学第一部学生自治会 体育常任委員会	留学生男子チーム参加	1月11日(土)
成人式	日本現代和装研究会	着物の着付けと式典出席	1月14日(月)
ユネスコ能楽ワークショップ	熊本ユネスコ協会	能面の体験・仕舞の鑑賞など	1月20日(日)
第19回 米国人留学大学生との交流会	熊本日米協会	米国人留学生と協会員との交流	1月29日(月)
第31回熊本春節祝賀会	熊本県日中協会	中国人留学生と協会員との交流	2月26日(火)
外国人の視点から 芦北と水俣を訪ねる	芦北町・水俣市	芦北・水俣へのモニターツアー	3月3日(日)
ユネスコ文化財を見る会	熊本ユネスコ協会	山鹿へのユネスコ会員との小旅行	3月9日(土)
第19回定期演奏会 GREEN CONCERT 2013	熊本学園大学 グリーンフィルハーモニックオーケストラ	クラシックコンサート	3月10日(日)
熊本市広域防災センター見学	熊本学園大学国際教育課	防災センターで消防事情講話と 地震・台風・火災体験	4月5日(金)
秋津公民館での市民交流	秋津公民館	「タイ」についての講話と交流会	5月8日(水)
ウェルカムパーティー	熊本留学生交流推進会議	新入留学生との交流会	5月19日(日)
第23回 外国人留学生弁論大会	熊本学園大学国際交流委員会	本学留学生の日本語による弁論大会	6月8日(土)
第36回 火の国祭りおてもやん総踊り	大学コンソーシアム熊本	コンソ熊本・留学生チームとして参加	8月3日(土)
第1回 グローバルワークキャンプ	グローバルワークキャンプ 実行委員会	留学生と日本人学生が5分科会で交流	8月20日(火) ～8月23日(木)
中秋節の夕べ	熊本県日中友好協会	日中交流文化イベント	9月22日(日)
国慶節祝賀会	熊本県華僑総会	中国人留学生を招いての交流会	10月1日(火)
水銀に関する水俣条約 外交会議ボランティア	水銀条約外交会議 熊本県推進協議会事務局	熊本で開催される水銀条約外交会議に おける通訳ほかボランティア活動	8月6日(火) ～8月10日(土)
熊本市広域防災センター見学	熊本学園大学国際教育課	防災センターで消防事情講話と 地震・台風・火災体験	9月18日(水)
体育祭	熊本学園大学体育常任委員会	体育祭へ参加	10月19日(土)
ウェルカムパーティー	熊本留学生交流推進会議	新入留学生との交流会	10月19日(土)
秋の新入生歓迎バス旅行	熊本学園大学国際教育課	宮崎高千穂峡・五ヶ瀬ワイナリー見学	10月31日(水)
託麻祭	熊本学園大学第一部学生自治会	学園祭	11月1日(金) ～11月3日(日)
JRC高校生メンバー国際交流会	日本赤十字社熊本県支部	高校生との交流会	11月4日(日)
ボランティアガイド養成講座	熊本留学生交流推進会議	くまもとを知る講義と実地研修	11月30日(土)
留学生シンポジウム	熊本留学生交流推進会議	「留学生に聞いてみよう！」 ～ビフォーアフター そしてこれからの自分～ をテーマに発表&餅つき	12月7日(土)
熊本留学生バスツアー	熊本留学生交流推進会議	阿蘇を巡るバスツアー	12月8日(日)
外国人留学生のための 就職説明会	熊本県	外国人留学生の採用を考える 企業を交えての就職説明会	12月14日(土)
留学生スポーツ交流会	熊本学園大学第一部学生自治会 学生議会	本学日本人学生と留学生との スポーツ交流と懇親会	12月21日(土)
ビジネス用語・面接対策 就職ガイダンス	大学コンソーシアム熊本	日本語教育及び就職活動支援	12月22日(日)
第3回熊本知識者円卓会議	大学コンソーシアム熊本	「日本、そして熊本は世界に対して何をなす べきか」をテーマに語る	12月26日(木)



## 交換留学生派遣の記録

## アメリカ モンタナ州立大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	S 63 (1988)	田中 久博	経済学科 3年	1988年9月~1989年6月
2	H 1 (1989)	橋本 祐二	経営学科 3年	1989年3月~1990年3月
3	H 2 (1990)	松永 佳甫	経済学科 3年	1990年3月~1991年3月
4	H 3 (1991)	宮本 雅子	経営学科 3年	1991年4月~1992年3月
		清田 俊秀	経済学科 3年	
5	H 4 (1992)	中村 洋子	第一部商学科 3年	1992年8月~1993年8月
		西澤 和晃	国際経済学科 3年	
		矢澤 恵子	国際経済学科 3年	
6	H 5 (1993)	野田 光	経営学科 5年	1993年8月~1994年5月
		佐々木 栄治	経済学科 4年	
7	H 6 (1994)	内山 明美	教養科 2年	1994年8月~1995年5月
		大津山 希	国際経済学科 3年	
		溝上 理恵	国際経済学科 3年	
8	H 7 (1995)	宗野 泰之	国際経済学科 4年	1995年8月~1996年5月
		小松 真樹	国際経済学科 3年	
		田辺 順子	国際経済学科 3年	
9	H 8 (1996)	福田 俊寛	英米学科 2年	1996年8月~1997年5月
		村上 美沙	英米学科 2年	
10	H 9 (1997)	吉住 英治	英米学科 3年	1997年8月~1998年5月
		中島 佳	第一部商学科 3年	
		中村 文香	国際経済学科 3年	
11	H 10 (1998)	北岡 佳子	英米学科 4年	1998年8月~1999年5月
		庄山 理恵	第一部商学科 3年	
		緒方 知美	英米学科 4年	
12	H 11 (1999)	宮川 愛	英米学科 4年	1999年8月~2000年5月
		松本 真美	英米学科 3年	
		袁田 陽子	英米学科 3年	
13	H 12 (2000)	櫻井 淳也	英米学科 4年	2000年8月~2001年5月
		林田 和香子	国際経済学科 4年	
		森 由里子	英米学科 3年	
14	H 13 (2001)	津田 恭子	英米学科 4年	2001年8月~2002年5月
		遠山 涼子	英米学科 3年	
		林田 倫子	英米学科 3年	
15	H 14 (2002)	米田 夏子	英米学科 3年	2002年8月~2003年5月
		北野 阿弓	国際経済学科 4年	
		小野 千賀子	英米学科 3年	
16	H 15 (2003)	田中 麻紀子	英米学科 3年	2003年8月~2004年5月
		河島 悠里	国際経済学科 4年	
		中間 大博	国際経済学科 4年	
17	H 16 (2004)	海津 レイ	英米学科 2年	2004年8月~2005年5月
		内田 朝子	英米学科 3年	
		平江 美貴	英米学科 3年	
18	H 17 (2005)	江口 藍	英米学科 3年	2005年8月~2006年5月
		倉岡 亜希子	英米学科 3年	
19	H 18 (2006)	山部 いづみ	英米学科 2年	2006年8月~2007年5月
		下り藤 卓実	第二部社会福祉学科 3年	
20	H 19 (2007)	永汐 温美	英米学科 3年	2007年8月~2008年5月
		中村 千明	英米学科 3年	
21	H 20 (2008)	大村 美沙季	英米学科 3年	2008年8月~2009年5月
		西村 淳美	英米学科 3年	
22	H 21 (2009)	水野 可奈子	経済学・社会学科 3年	2009年8月~2010年5月
		石倉 好貴	英米学科 3年	
		上野 美世	英米学科 3年	
		牧 由布志	英米学科 3年	
23	H 22 (2010)	川口 由希子	英米学科 2年	2010年8月~2011年5月
		猿渡 有唯	英米学科 2年	
		古谷 綾香	英米学科 4年	
24	H 23 (2011)	赤星 愛美	経済学・社会学科 3年	2011年8月~2012年5月
		奥畑 千愛	英米学科 2年	
		白角 勇介	英米学科 2年	
25	H 24 (2012)	高柳 吉乃	国際経済学科 3年	2012年8月~2013年5月
		前川 彩乃	英米学科 3年	
26	H 25 (2013)	守田 美里	英米学科 4年	2013年8月~2014年5月
		山田 顕大	第一部商学科 3年	
		小野 千尋	英米学科 2年	

## アメリカ モンタナ大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 8 (1996)	出田 薫	国際経済学科 4年	1996年8月~1997年5月
		永井 大嗣	第二部商学科 4年	
2	H 9 (1997)	小林 円	英米学科 3年	1997年8月~1998年5月
		石井 大輔	英米学科 4年	
		竹中 真司	第二部社会福祉学科 4年	
3	H 10 (1998)	肥山 万利子	国際経済学科 4年	1998年8月~1999年5月
		藤原 かおり	英米学科 3年	
		森一 宏美	英米学科 3年	
4	H 11 (1999)	久恒 尚子	英米学科 2年	1999年8月~2000年5月
		田中 智子	英米学科 3年	
		森崎 秀一	英米学科 4年	
5	H 12 (2000)	寺崎 賀子	英米学科 3年	2000年8月~2001年5月
		村上 由香	英米学科 4年	
6	H 13 (2001)	木下 直美	英米学科 3年	2001年8月~2002年5月
		森川 絢子	英米学科 3年	
7	H 14 (2002)	加藤 裕助	英米学科 3年	2002年8月~2003年5月
8	H 15 (2003)	川原 綾	英米学科 3年	2003年8月~2004年5月
9	H 16 (2004)	境 亜矢子	英米学科 3年	2004年8月~2005年5月
10	H 19 (2007)	松本 芳枝	国際経済学科 2年	2007年8月~2008年5月
11	H 21 (2009)	本田 愛理	英米学科 3年	2009年8月~2010年5月
12	H 22 (2010)	寺岡 里紗	国際経済学科 2年	2010年8月~2011年5月

## アメリカ キャロル大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 3 (1991)	卵野木 佐代子	経済学科 3年	1991年9月~1992年8月
2	H 4 (1992)	石黒 武人	国際経済学科 2年	1992年8月~1993年5月
		成松 明子	国際経済学科 2年	
3	H 5 (1993)	村上 大介	経済学科 3年	1993年8月~1994年5月
		菅原 由奈子	国際経済学科 3年	
4	H 6 (1994)	宮原 千佳子	経済学科 3年	1994年8月~1995年5月
		田口 雅美	経済学科 4年	
5	H 7 (1995)	嶋田 有利子	国際経済学科 3年	1995年8月~1996年5月
		田島 由里	国際経済学科 3年	
6	H 9 (1997)	大澤 孝	英米学科 3年	1997年8月~1998年5月
		平山 良子	英米学科 3年	
7	H 10 (1998)	菊川 悠一	英米学科 3年	1998年8月~1999年5月
		森島 千晴	英米学科 4年	
8	H 11 (1999)	寺本 由紀	国際経済学科 3年	1999年8月~2000年5月
		副島 瞳	英米学科 3年	
9	H 12 (2000)	鎌田 佳織	英米学科 3年	2000年8月~2001年5月
		牧 亜希子	保育科 3年	
10	H 13 (2001)	田川 貴恵	英米学科 3年	2001年8月~2002年5月
		中嶋 阿寿香	英米学科 3年	
11	H 14 (2002)	緒方 真美	国際経済学科 3年	2002年8月~2003年5月
		安達 佳世	英米学科 3年	
12	H 15 (2003)	山口 真理子	英米学科 4年	2003年8月~2004年5月
		阿倍 有圭子	英米学科 2年	
13	H 16 (2004)	田中 千春	英米学科 3年	2004年8月~2005年5月
		高野 清華	国際経済学科 4年	
14	H 17 (2005)	荒木 つかさ	国際経済学科 3年	2005年8月~2006年5月
15	H 18 (2006)	武藤 由貴	英米学科 4年	2006年8月~2007年5月
16	H 20 (2008)	下城 崇	英米学科 4年	2008年8月~2009年5月
17	H 22 (2010)	茨木 彩月	英米学科 3年	2010年8月~2011年5月
18	H 24 (2012)			2012年8月~2013年5月



### アメリカ インターネットワート大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 3 (1991)	橋本 美穂	市 国際経済学科 3 年	1991年8月~1992年8月
2	H 4 (1992)	清島 聖也	市 国際経済学科 2 年	1992年8月~1993年8月
3	H 5 (1993)	斉藤 由香	市 国際経済学科 3 年	1993年8月~1994年8月
4	H 6 (1994)	坂口 嘉朱代	市 国際経済学科 4 年	1994年8月~1995年8月
5	H 7 (1995)	六ツ石 和歌子	市 経営学科 4 年	1995年8月~1996年8月
6	H 8 (1996)	池田 さやか	市 英米学科 4 年	1996年8月~1997年8月
7	H 9 (1997)	満生 有希子	市 英米学科 4 年	1997年8月~1998年8月
8	H 10 (1998)	栗本 聡	市 経済学科 4 年	1998年8月~1999年8月
9	H 11 (1999)	清水 卓朗	国際経済学科 2 年	1999年8月~2000年5月
		松延 良記	市 英米学科 4 年	
10	H 12 (2000)	木村 友香	市 国際経済学科 4 年	2000年8月~2001年5月
		垣内 亜由美	市 国際経済学科 3 年	
		宮崎 綾	市 英米学科 3 年	
11	H 13 (2001)	岡部 淑子	国際経済学科 2 年	2001年8月~2002年5月
		修本 香織	市 英米学科 2 年	
12	H 14 (2002)	田中 晶子	英米学科 3 年	2002年8月~2003年5月
13	H 15 (2003)	本田 美香	市 英米学科 3 年	2003年8月~2004年5月
14	H 16 (2004)	金光 聡美	市 英米学科 2 年	2004年8月~2005年5月
		西岡 朋美	英米学科 2 年	
15	H 17 (2005)	栗津 武志	英米学科 4 年	2005年8月~2006年5月
16	H 18 (2006)	白井 美菜子	英米学科 2 年	2006年8月~2007年5月
17	H 19 (2007)	田村 聡美	国際経済学科 3 年	2007年8月~2008年5月
18	H 20 (2008)	平井 桃花	英米学科 3 年	2008年8月~2009年5月
19	H 21 (2009)	中村 友規	英米学科 3 年	2009年8月~2010年5月
		森 淑恵	英米学科 4 年	
20	H 22 (2010)	小川 文子	国際経済学科 4 年	2010年8月~2011年5月
21	H 23 (2011)	久木田 麻衣	英米学科 2 年	2011年8月~2012年5月
		瀧田 依里	英米学科 3 年	
22	H 24 (2012)	花田 朗寿	国際経済学科 3 年	2012年8月~2013年5月
		林 明日香	英米学科 3 年	
23	H 25 (2013)	櫻木 かおり	英米学科 4 年	2013年8月~2014年5月

\*市=熊本市交流事業

### アメリカ アワーレディオブザレイク大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 2 (1990)	村上 靖成	経済学科 4 年	1990年8月~1991年8月
2	H 4 (1992)	前川 佳子	国際経済学科 3 年	1992年8月~1993年8月
3	H 5 (1993)	山本 亮子	国際経済学科 3 年	1993年8月~1994年8月
4	H 6 (1994)	福本 洋	国際経済学科 4 年	1994年8月~1995年8月
5	H 9 (1997)	斉藤 あかね	第一部社会福祉学科 4 年	1997年8月~1998年8月
6	H 10 (1998)	日高 増美	国際経済学科 3 年	1998年8月~1999年8月
7	H 13 (2001)	南部 恵美	英米学科 4 年	2001年8月~2002年5月

\*熊本市交流事業

### アメリカ ウィスコンシン大学オークレア校

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 15 (2003)	桑本 理多可	経営学科 2 年	2003年8月~2004年5月
		刈野 順子	英米学科 3 年	
2	H 16 (2004)	井上 晶子	英米学科 3 年	2004年8月~2005年5月
		坂口 恵梨香	英米学科 3 年	
		村山 麻由美	英米学科 4 年	
3	H 17 (2005)	江口 舞	英米学科 3 年	2005年8月~2006年5月
		李世 恩	英米学科 3 年	
4	H 18 (2006)	廣田 淑子	英米学科 3 年	2006年8月~2007年5月
		藤田 翔子	英米学科 4 年	
5	H 20 (2008)	米田 浩之	経営学科 2 年	2008年8月~2009年5月
6	H 24 (2012)	後藤 優希	英米学科 3 年	2012年8月~2012年12月
	短期	山口 緑	英米学科 3 年	

### カナダ セント・メアリーズ大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 12 (2000)	岩崎 麻貴子	国際経済学科 2 年	2000年9月~2001年4月
		原田 美由紀	英米学科 3 年	
2	H 13 (2001)	江頭 祐子	英米学科 3 年	2001年9月~2002年4月
		飯田 綾	英米学科 4 年	
3	H 14 (2002)	緒方 広子	英米学科 2 年	2002年9月~2003年4月
4	H 15 (2003)	中矢 智子	英米学科 3 年	2003年9月~2004年4月
5	H 17 (2005)	城戸 千明	国際経済学科 3 年	2005年8月~2006年4月
		森田 茜	英米学科 3 年	
6	H 18 (2006)	立尾 論世	英米学科 2 年	2006年8月~2007年4月
		入江 夢子	英米学科 3 年	
7	H 19 (2007)	岡田 慶子	国際経済学科 2 年	2007年9月~2008年4月
		佐美三 綾	英米学科 3 年	
		野中 小百合	英米学科 4 年	
		宮前 紅里	国際経済学科 2 年	
8	H 20 (2008)	田代 彩花	英米学科 3 年	2008年8月~2009年5月
		吉永 明日美	英米学科 3 年	
9	H 21 (2009)	宇野 由紀恵	英米学科 2 年	2009年9月~2010年4月
		中島 美緒	英米学科 3 年	
10	H 22 (2010)	宮路 弓絵	英米学科 2 年	2010年9月~2011年4月
		高永 倫子	英米学科 3 年	
11	H 23 (2011)	横山 綾乃	英米学科 3 年	2011年8月~2012年4月
		吉里 南麗沙	英米学科 3 年	
	H 23 (2011)	三好 香織	国際経済学科 3 年	2011年9月~2011年12月
	短期	勝田 江美	英米学科 3 年	
12	H 24 (2012)	原田 結佳	英米学科 2 年	2012年8月~2013年4月
		山田 玲実	英米学科 3 年	
13	H 25 (2013)	松隈 由佳	国際経済学科 4 年	2013年8月~2014年4月
		松枝 岬	英米学科 3 年	

### カナダ カールトン大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 14 (2002)	是石 昌樹	英米学科 3 年	2002年9月~2003年4月
2	H 15 (2003)	下城 由紀子	英米学科 3 年	2003年8月~2004年4月
		遠山 由子	英米学科 4 年	
3	H 16 (2004)	村上 真優美	国際経済学科 2 年	2004年8月~2005年4月
4	H 17 (2005)	高山 奈探	国際経済学科 2 年	2005年8月~2006年4月
		森川 真彦	英米学科 4 年	
5	H 18 (2006)	上野 浩太	国際経済学科 4 年	2006年8月~2007年4月
		坂本 賢美	英米学科 4 年	
6	H 21 (2009)	富永 理沙	英米学科 3 年	2009年9月~2010年4月
7	H 22 (2010)	松本 美紗	英米学科 4 年	2010年9月~2011年4月

### フランス リヨン商科大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 5 (1993)	穴井 隆二	経済学科 2 年	1993年9月~1994年6月
2	H 6 (1994)	松岡 高広	第一部商学科 3 年	1994年9月~1995年6月

### フランス ボワチエ大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 7 (1995)	上村 朋子	第二部商学科 2 年	1995年9月~1996年6月



## イギリス リバプールジョンモーズ大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 5 (1993)	鎌守 順子	国際経済学科 3年	1993年9月~1994年7月
		林 正人	国際経済学科 4年	
2	H 6 (1994)	上村 勝男	第一部商学科 3年	1994年9月~1995年7月
		佐藤 誠二	国際経済学科 3年	
3	H 7 (1995)	佐藤 伸洋	国際経済学科 3年	1995年9月~1996年5月
		高村 諭	国際経済学科 3年	
4	H 8 (1996)	和田 祥子	第一部商学科 4年	1996年9月~1997年5月
		有藤 陸世	英米学科 3年	
5	H 9 (1997)	植田 章子	英米学科 2年	1997年9月~1998年5月
		田代 幸枝	保育科 2年	
6	H 10 (1998)	上田 美和	国際経済学科 4年	1998年9月~1999年5月
		木村 祐紀子	英米学科 4年	
7	H 11 (1999)	櫻原 夕紀	国際経済学科 3年	1999年9月~2000年5月
		藤木 圭	英米学科 4年	
8	H 12 (2000)	緒方 愛子	英米学科 3年	2000年9月~2001年5月
		作村 理絵	英米学科 3年	
		佐藤 清美	英米学科 3年	
9	H 13 (2001)	鍋田 清香	英米学科 3年	2001年9月~2002年5月
		丹波 美和	英米学科 4年	
		古川 玲子	第二部社会福祉学科 4年	
10	H 14 (2002)	岩下 祐子	英米学科 2年	2002年9月~2003年5月
		森山 貴裕	英米学科 3年	
		黒木 珠美	第二部社会福祉学科 6年	
11	H 15 (2003)	田邊 亜弓	英米学科 3年	2003年9月~2004年5月
		渡辺 衣美	英米学科 3年	
12	H 16 (2004)	田屋 ゆりこ	英米学科 3年	2004年9月~2005年5月
		中川 道雄	第一部社会福祉学科 2年	
13	H 17 (2005)	宮本 三祐己	経営学科 2年	2005年8月~2006年5月
		實生 絵美	英米学科 4年	
14	H 18 (2006)	高島 利沙	英米学科 3年	2006年9月~2007年5月
		鳴神 祐子	英米学科 3年	
15	H 19 (2007)	西谷 夕夏	英米学科 4年	2007年9月~2008年5月
		松岡 由起	英米学科 4年	
16	H 20 (2008)	渡辺 美里	英米学科 3年	2008年9月~2009年5月
		下田 智子	英米学科 4年	
	H 20 (2008) 短期	永山 由佳	第一部商学科 4年	2008年9月~2008年12月
		吉川 尊徳	国際経済学科 4年	
		銚之原 秀平	英米学科 3年	
17	H 21 (2009)	金子 未来	英米学科 4年	2009年9月~2010年5月
		小川 菜摘	国際経済学科 3年	
	H 21 (2009) 短期	後藤 好美	英米学科 3年	2009年9月~2009年12月
		大山 佐紀	英米学科 3年	
18	H 22 (2010)	石田 圭世	東アジア学科 3年	2010年9月~2011年5月
		清田 航士朗	英米学科 3年	
	H 22 (2010) 短期	千々波 知子	英米学科 3年	2010年9月~2010年12月
		中川 朋美	経済学科 3年	
		本庄 智美	国際経済学科 3年	
		立岡 由妃	英米学科 2年	
		小西 実加	英米学科 4年	
		元山 由希	英米学科 3年	
19	H 23 (2011)	植原 好史	英米学科 3年	2011年9月~2012年5月
		原口 理衣	英米学科 4年	
20	H 24 (2012)			2012年9月~2013年5月

## イギリス アルスター大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 11 (1999)	西尾 佳子	国際経済学科 3年	1999年7月~2000年6月
		馬渡 恵	英米学科 4年	
2	H 12 (2000)	宇治野 誠	国際経済学科 4年	2000年7月~2001年6月
		荒木 さゆり	英米学科 2年	
3	H 13 (2001)	大窪 路子	国際経済学科 4年	2001年7月~2002年6月
		山田 玲奈	英米学科 3年	
4	H 14 (2002)	坂口 千晴	英米学科 4年	2002年8月~2003年5月
		吉井 由美	英米学科 4年	

## オーストラリア ラトロブ大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 15 (2003)	田村 早都子	東アジア学科 2年	2003年3月~2003年12月
		上田 梨世	第二部社会福祉学科 3年	
2	H 16 (2004)	松田 聡	経営学科 4年	2004年2月~2004年11月
		松岡 裕美子	英米学科 3年	
3	H 17 (2005)	上平 真季	国際経済学科 2年	2005年2月~2005年11月
		岩田 和美	英米学科 2年	
4	H 18 (2006)	森高 沙織	英米学科 2年	2006年2月~2006年11月
		荒巻 沙織	第一部社会福祉学科 3年	
5	H 19 (2007)	中川 裕里加	英米学科 2年	2007年2月~2007年11月
		荒木 恵子	英米学科 3年	
		中山 寛子	英米学科 3年	
		鬼崎 由嘉利	英米学科 4年	
		松本 瞳	第二部社会福祉学科 3年	
6	H 20 (2008)	中山 裕加里	国際経済学科 3年	2008年2月~2008年11月
		石松 由衣	英米学科 2年	
		小野 桃子	第一部社会福祉学科 4年	
		本河 英志	第一部社会福祉学科 4年	
7	H 21 (2009)	渡辺 由奈	国際経済学科 1年	2009年2月~2009年11月
		鬼塚 朋美	国際経済学科 3年	
		平山 和枝	英米学科 2年	
8	H 22 (2010)	中野 歌穂	英米学科 1年	2010年2月~2010年11月
		森部 真未	英米学科 1年	
		阿部 央	社会福祉学研究所 2年	
9	H 23 (2011)	高木 大地	国際経済学科 4年	2011年2月~2011年11月
		壁村 岬	英米学科 1年	
10	H 24 (2012)	安戸 仁美	ホスピタリティマネジメント学科1年	2012年2月~2012年11月
		竹村 夏美	英米学科 2年	
	H24(2012)短期	荒木 美聡	国際経済学科 2年	2012年2月~2012年6月

## ニュージーランド ユニテック工科大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 11 (1999)	小川 美智子	経営学科 2年	1999年2月~1999年12月
2	H 12 (2000)	立嶋 里絵	経営学科 2年	2000年2月~2000年12月
3	H 13 (2001)	上之原 俊介	英米学科 2年	2001年2月~2001年12月
		中村 恵美	英米学科 2年	
4	H 14 (2002)	佐藤 善高	英米学科 4年	2002年2月~2002年12月
		中嶋 佑一郎	国際経済学科 3年	
5	H 15 (2003)	野々口 香織	英米学科 3年	2003年2月~2003年12月
		松永 梨江	国際経済学科 2年	
6	H 16 (2004)	奥野 真衣	英米学科 3年	2004年2月~2004年12月
		田中 夏美	英米学科 3年	
7	H 17 (2005)	生田 紘子	東アジア学科 3年	2005年2月~2005年12月
		大隈 千夏	国際経済学科 3年	
8	H 18 (2006)	甲斐 雄一郎	英米学科 3年	2006年2月~2006年12月
		深水 祐紀	経済学科 4年	
9	H 19 (2007)	甲斐 杏子	英米学科 4年	2007年2月~2007年12月
		北岡 理奈	英米学科 2年	
10	H 20 (2008)	田邊 美保	英米学科 4年	2008年2月~2008年12月
		吉永 安里	ホスピタリティマネジメント学科2年	
	H 20 (2008) 短期	前川 佳子	英米学科 2年	2008年2月~2008年6月
11	H 21 (2009)	佐々木 慶太	英米学科 2年	2009年2月~2009年12月
		増井 沙奈江	英米学科 2年	
	H 21 (2009) 短期	早川 千尋	福祉環境学科 3年	2009年2月~2009年6月
H 22 (2010)	頼藤 瑠璃子	経済学研究所 3年	2010年2月~2010年12月	
	山下 香菜	国際経済学科 1年		
12	H 22 (2010) 短期	熊川 翼	英米学科 2年	2010年2月~2010年6月
		稲島 成美	英米学科 3年	
13	H 23 (2011)	川鍋 愛実	英米学科 3年	2011年2月~2011年12月
		大島 三和	国際経済学科 2年	
		田代 美穂	国際経済学科 2年	
		井上 大央	英米学科 3年	
	H23(2011)短期	中山 由貴	ホスピタリティマネジメント学科1年	2011年2月~2011年6月
14	H 24 (2012)	松平 百合恵	ホスピタリティマネジメント学科2年	2012年2月~2012年12月
		林田 彩里	国際経済学科 2年	

### 中国 深圳大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	S 63 (1988)	高木 浩規	経営学科 4 年	1988年9月~1989年6月
		松山 泰広	経営学科 4 年	
2	H 1 (1989)	林田 真奈美	第二部商学科 4 年	1989年4月~1990年3月
		伊藤 幸太郎	経営学科 2 年	
3	H 2 (1990)	徳永 盛久	第一部商学科 2 年	1990年2月~1991年2月
		古堅 育子	経営学科 3 年	
4	H 3 (1991)	村橋 秀樹	経営学科 2 年	1991年2月~1992年2月
		西村 美夏	国際経済学科 1 年	
5	H 4 (1992)	緒方 浩一	経済学科 2 年	1992年2月~1993年2月
		倉重 圭介	国際経済学科 2 年	
6	H 5 (1993)	舌間 正規	第一部商学科 3 年	1993年2月~1994年2月
		山本 さゆり	経済学科 2 年	
7	H 6 (1994)	溜瀧 美和	国際経済学科 2 年	1994年2月~1995年2月
		脇元 由布子	国際経済学科 2 年	
8	H 7 (1995)	佐伯 玲奈	第一部商学科 3 年	1995年2月~1996年2月
		角屋 典枝	国際経済学科 3 年	
9	H 8 (1996)	酒井 理恵	第一部商学科 3 年	1996年2月~1997年2月
		早川 愛	国際経済学科 3 年	
10	H 9 (1997)	嶋田 美保	国際経済学科 4 年	1997年2月~1998年2月
		山下 祐子	国際経済学科 4 年	
11	H 10 (1998)	陣 由美子	第一部商学科 3 年	1998年2月~1999年2月
		山下 英恵	国際経済学科 3 年	
12	H 11 (1999)	池田 由起子	東アジア学科 3 年	1999年3月~2000年2月
		田中 圭子	東アジア学科 4 年	
13	H 12 (2000)	近藤 啓史	第一部商学科 4 年	2000年3月~2001年2月
		高山 美佐	国際経済学科 3 年	
14	H 13 (2001)	池田 幸子	経済学科 4 年	2001年3月~2002年2月
		奥山 一弥	東アジア学科 2 年	
15	H 14 (2002)	田中 尚美	東アジア学科 2 年	2002年3月~2003年2月
		宮本 清香	東アジア学科 2 年	
16	H 15 (2003)	村山 恵美	国際経済学科 3 年	2003年3月~2004年2月
		澤田 麻梨子	東アジア学科 2 年	
17	H 16 (2004)	則本 智紀	東アジア学科 2 年	2004年3月~2005年2月
		吉川 尚徳	東アジア学科 3 年	
18	H 17 (2005)	安武 美奈	経営学科 3 年	2005年3月~2006年2月
		江崎 志穂	国際経済学科 3 年	
19	H 18 (2006)	畑中 祐紀	東アジア学科 3 年	2006年3月~2007年2月
		牧村 勇希	東アジア学科 3 年	
20	H 19 (2007)	草野 彩	東アジア学科 2 年	2007年3月~2008年2月
		宮崎 みどり	東アジア学科 2 年	
21	H 20 (2008)	坂本 みどり	東アジア学科 2 年	2008年3月~2009年2月
		諸藤 由加里	東アジア学科 2 年	
22	H 21 (2009)	松本 由希子	東アジア学科 2 年	2009年3月~2010年2月
		出口 聡子	東アジア学科 3 年	
23	H 22 (2010)	高井 智代	国際経済学科 2 年	2010年3月~2011年2月
		山口 桃佳	東アジア学科 2 年	
24	H 23 (2011)	濱田 智恵	東アジア学科 2 年	2011年3月~2012年2月
		米村 麻里菜	東アジア学科 3 年	
25	H 24 (2012)	谷方 秀美	東アジア学科 3 年	2012年3月~2013年2月
		山崎 誠	東アジア学科 3 年	
26	H 25 (2013)	森田 昌幸	東アジア学科 1 年	2013年3月~2014年2月
		富高 ありさ	東アジア学科 3 年	

### 中国 中国人民大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 11 (1999)	田上 瑠美	国際経済学科 4 年	1999年9月~2000年8月
		吉田 香織	東アジア学科 4 年	
2	H 12 (2000)	大久保 美穂	第一部商学科 4 年	2000年3月~2001年2月
3	H 13 (2001)	富田 雅子	東アジア学科 2 年	2001年3月~2002年2月
4	H 14 (2002)	淵上 達也	国際経済学科 3 年	2002年3月~2003年2月
5	H 15 (2003)	熊永 憲	東アジア学科 3 年	2003年3月~2004年2月
6	H 16 (2004)	尾田 美紀	東アジア学科 3 年	2004年3月~2005年2月
7	H 17 (2005)	岩岡 憲太郎	東アジア学科 3 年	2005年3月~2006年2月

### 中国 北京外国語大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 12 (2000)	志柿 佳奈	東アジア学科 4 年	2000年3月~2001年2月
2	H 15 (2003)	大川内 良太	東アジア学科 3 年	2003年3月~2004年2月
3	H 16 (2004)	東 記久子	東アジア学科 3 年	2004年4月~2005年2月
4	H 18 (2006)	松島 圭	東アジア学科 2 年	2006年3月~2007年2月
		田上 真行	東アジア学科 4 年	
5	H 19 (2007)	金居 明宏	東アジア学科 3 年	2007年3月~2008年2月
6	H 20 (2008)	堤 哲也	東アジア学科 4 年	2008年3月~2009年2月
7	H 21 (2009)	佐藤 翼	東アジア学科 2 年	2009年3月~2010年2月
8	H 22 (2010)	池部 有咲	国際経済学科 3 年	2010年3月~2011年2月
9	H 23 (2011)	淋 勝輝	東アジア学科 3 年	2011年3月~2012年2月
10	H 24 (2012)	井手 孝則	国際経済学科 2 年	2012年3月~2013年2月

### 中国 北京語言大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 13 (2001)	吉武 由華	東アジア学科 2 年	2001年3月~2002年2月
2	H 14 (2002)	中野 由加里	東アジア学科 3 年	2002年3月~2003年2月
3	H 17 (2005)	山本 佳奈	東アジア学科 4 年	2005年3月~2006年2月
4	H 19 (2007)	北里 美来	東アジア学科 3 年	2007年3月~2008年2月
5	H 20 (2008)	池田 昌隆	国際経済学科 3 年	2008年3月~2009年2月
6	H 21 (2009)	大山 絢子	国際経済学科 3 年	2009年3月~2010年2月
7	H 22 (2010)	土屋 俊秀	東アジア学科 1 年	2010年3月~2011年2月
		森田 晶子	東アジア学科 1 年	
8	H 23 (2011)	北川 誉	東アジア学科 2 年	2011年3月~2012年2月
9	H 24 (2012)	竹原 僚一	経営学科 3 年	2012年3月~2013年2月
10	H 25 (2013)	山平 千晶	東アジア学科 2 年	2013年3月~2014年2月

### 中国 北京第二外国語学院

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 18 (2006)	北島 大介	東アジア学科 3 年	2006年3月~2007年2月
2	H 19 (2007)	木村 麻里子	東アジア学科 2 年	2007年3月~2008年2月
3	H 20 (2008)	堅島 千彰	国際経済学科 3 年	2008年3月~2009年2月
4	H 21 (2009)	福山 明	東アジア学科 3 年	2009年3月~2010年2月
5	H 22 (2010)	古閑 慶子	東アジア学科 2 年	2010年3月~2011年2月
6	H 23 (2011)	渡辺 雄二	東アジア学科 3 年	2011年3月~2012年2月
7	H 24 (2012)	河村 拓也	東アジア学科 3 年	2012年3月~2013年2月
8	H 25 (2013)	坂口 絵美	東アジア学科 3 年	2013年3月~2014年2月

### 中国 広西師範大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	S58 (1983)	永平 久雄	経済学科 3 年	1983年10月~1984年8月
2	H 7 (1995)	城戸 麻美	経済学科 3 年	1995年10月~1996年7月
3	H 11 (1999)	永田 さやか	東アジア学科 4 年	1999年9月~2000年7月
4	H 13 (2001)	枝村 邦昭	東アジア学科 3 年	2001年9月~2002年7月
5	H 15 (2003)	前田 麻美	国際経済学科 3 年	2003年9月~2004年8月
		寺本 好見	東アジア学科 2 年	
6	H 17 (2005)	馬場 裕子	東アジア学科 3 年	2005年8月~2006年7月
		吉野 富士	東アジア学科 3 年	
7	H 19 (2007)	迫 章文	東アジア学科 4 年	2007年8月~2008年7月

※熊本市交流事業

### 台湾 崑山科技大學

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H24 (2012)	小北 花子	東アジア学科 3 年	2012年9月~2013年8月



## 韓国 大田大学校

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 7 (1995)	川口 圭	東アジア学科 1年	1995年3月~1996年2月
		渡邊 潤	東アジア学科 1年	
2	H 8 (1996)	渡邊 照男	経営学科 2年	1996年3月~1997年2月
		横手 誠	国際経済学科 3年	
3	H 9 (1997)	上田 浩司	第二部商学科 4年	1997年3月~1998年2月
4	H 10 (1998)	江口 智治	国際経済学科 2年	1998年3月~1999年2月
		村中 裕一郎	東アジア学科 3年	
5	H 11 (1999)	川畑 秀貴	第一部商学科 3年	1999年3月~2000年2月
		松江 由賀	東アジア学科 2年	
6	H 12 (2000)	辻本 由美	東アジア学科 2年	2000年3月~2001年2月
		宮瀬 誠	東アジア学科 2年	
7	H 13 (2001)	清田 育代	東アジア学科 3年	2001年3月~2002年2月
		今村 富美子	東アジア学科 2年	
8	H 14 (2002)	杉原 将司	東アジア学科 2年	2002年3月~2003年2月
		田内 敬子	東アジア学科 2年	
9	H 15 (2003)	長田 真以子	国際経済学科 2年	2003年3月~2004年2月
		安達 知子	東アジア学科 2年	
10	H 16 (2004)	池部 千夏	東アジア学科 2年	2004年3月~2005年2月
		大道 美妃	国際経済学科 2年	
11	H 17 (2005)	岩井 優子	東アジア学科 2年	2005年3月~2006年2月
		大洞 時子	東アジア学科 2年	
12	H 18 (2006)	奥田 瑠美	東アジア学科 3年	2006年3月~2007年2月
		白石 恵理佳	経済学科 1年	
13	H 19 (2007)	井元 育	東アジア学科 2年	2007年3月~2008年2月
		小堀 美穂	東アジア学科 2年	
14	H 20 (2008)	立和田 麻奈	東アジア学科 3年	2008年3月~2009年2月
		柴田 さおり	東アジア学科 2年	
15	H 21 (2009)	田中 美穂子	東アジア学科 2年	2009年3月~2010年2月
		寺本 真悠子	東アジア学科 2年	
16	H 22 (2010)	宮本 涼子	東アジア学科 2年	2010年3月~2011年2月
		田中 紳也	東アジア学科 3年	
17	H 23 (2011)	福島 大輔	東アジア学科 3年	2011年3月~2012年2月
		堀本 和弥	東アジア学科 3年	
18	H 24 (2012)	小幡 綾加	経済学科 2年	2012年3月~2013年2月
		鹿島 兼豪	東アジア学科 2年	
19	H 25 (2013)	武田 望	東アジア学科 2年	2013年3月~2014年2月
		川野 秀美	東アジア学科 3年	
20	H 26 (2014)	佐伯 美幸	東アジア学科 3年	2014年3月~2015年2月
		潮谷 くらら	東アジア学科 3年	
21	H 27 (2015)	平野 由恵	東アジア学科 3年	2015年3月~2016年2月
		吉田 真理	東アジア学科 3年	
22	H 28 (2016)	孫 路	国際経済学科 2年	2016年3月~2017年2月
		今給黎 知佳	東アジア学科 1年	
23	H 29 (2017)	有岡 恵実	東アジア学科 2年	2017年3月~2018年2月
		管 友見	東アジア学科 2年	
24	H 30 (2018)	本田 真美	東アジア学科 2年	2018年3月~2019年2月
		松本 拓	東アジア学科 3年	
25	H 31 (2019)	吉留 夏羽	経済学科 4年	2019年3月~2020年2月
		石井 智晴	東アジア学科 2年	
26	H 32 (2020)	小林 ゆうき	東アジア学科 2年	2020年3月~2021年2月
		山本 洋子	東アジア学科 2年	
27	H 33 (2021)	西村 康孝	第一部社会福祉学科 2年	2021年3月~2022年2月
		松本 莉沙	経営学科 3年	
28	H 34 (2022)	北村 咲紀	東アジア学科 1年	2022年3月~2023年2月
		森口 樹生	東アジア学科 1年	
29	H 35 (2023)	佐藤 千尋	東アジア学科 2年	2023年3月~2024年2月
		緒方 志保	東アジア学科 3年	
30	H 36 (2024)	小西 史織	東アジア学科 2年	2024年3月~2025年2月
		島津 直希	東アジア学科 2年	
31	H 37 (2025)	田尻 彩	東アジア学科 2年	2025年3月~2026年2月
		冢入 麻梨子	福祉環境学科 3年	
32	H 38 (2026)	佐藤 由貴	ホスピタリティマネジメント学科2年	2026年3月~2027年2月
		田中 優衣	ホスピタリティマネジメント学科2年	
33	H 39 (2027)	向田 早希	国際経済学科 3年	2027年3月~2028年2月
		坂梨 紗也加	東アジア学科 1年	
34	H 40 (2028)	岩下 桃子	東アジア学科 2年	2028年3月~2029年2月
		岡部 彩夏	東アジア学科 2年	

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
19	H 25 (2013)	高本 詩帆	経営学科 2年	2013年3月~2014年2月
		藤田 皆人	経営学科 2年	
		中島 早貴	国際経済学科 2年	
		加藤 環	東アジア学科 2年	
		椎原 真子	東アジア学科 2年	
		園田 真央	東アジア学科 3年	

## ベトナム ベトナム国家大学ハノイ校

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H16 (2004)	権藤 眞由美	第二部社会福祉学科 5年	2004年9月~2005年7月
2	H18 (2006)	高木 あゆみ	福祉環境学科 3年	2006年2月~2006年6月
3	H19 (2007)	吉永 貴史	経営学科 2年	2007年9月~2008年1月
4	H20 (2008)	本岩 緑	国際経済学科 2年	2008年9月~2009年1月
5	H22 (2010)	春日 麻美	第二部社会福祉学科 5年	2010年9月~2011年1月
6	H24 (2012)	永江 志保	ホスピタリティマネジメント学科2年	2012年2月~2012年6月

## タイ チュラロンコーン大学

	派遣年度	氏名	学 科	派遣期間
1	H 16 (2004)	荒木 亜衣	国際経済学科 4年	2004年7月~2004年12月
2	H 18 (2006)	喜讀 真弓	国際経済学科 4年	2006年8月~2006年12月
3	H 19 (2007)	岩下 大輔	英米学科 4年	2007年8月~2008年5月
4	H 21 (2009)	田代 里紗子	国際経済学科 2年	2009年8月~2010年5月

## 派遣交換留学生総数

派遣年度	派遣学生数
S 58 (1983)	1
S 63 (1988)	3
H 1 (1989)	3
H 2 (1990)	4
H 3 (1991)	6
H 4 (1992)	9
H 5 (1993)	12
H 6 (1994)	12
H 7 (1995)	14
H 8 (1996)	11
H 9 (1997)	15
H 10 (1998)	16
H 11 (1999)	22
H 12 (2000)	25
H 13 (2001)	26
H 14 (2002)	23
H 15 (2003)	27
H 16 (2004)	27
H 17 (2005)	29
H 18 (2006)	31
H 19 (2007)	30
H 20 (2008)	33
H 21 (2009)	29
H 22 (2010)	32
H 23 (2011)	25
H 24 (2012)	30
H 25 (2013)	15
合 計	510

## 交換留学生受入の記録

### アメリカ モンタナ州立大学

	氏名	学 科	受入期間
1	リーネッシュ クリス	国際経済学科 4年	1991年9月~1992年3月
	クルースナー ティム	国際経済学科 4年	
2	ローミンジャー コーリー	国際経済学科 3年	1992年9月~1993年8月
	グラント テイビッド	国際経済学科 3年	
3	ギルカーソン ローラ	国際経済学科 2年	1994年9月~1995年3月
	ギルカーソン マイケル	国際経済学科 4年	
	グラント テイビッド	国際経済学科 4年	
4	ヘルツボグ アンティ	経営学科 3年	1995年9月~1996年8月
	ロビン テイビッド	経営学科 3年	
	ギルマー ケン	国際経済学科 3年	
5	バイカーチャク スコット	国際経済学科 3年	1996年9月~1997年8月
	オルソン ハリー	国際経済学科 4年	
6	ケリー クリストファー	国際経済学科 3年	1997年9月~1998年8月
	カリン リチャード	英米学科 2年	
	サンダース ダニール	社会福祉学科 4年	
7	パークホルター ジェイミー	国際経済学科 3年	1998年9月~1999年8月
	フィッツパトリック ライアン	国際経済学科 4年	
	ヤーガー ジェニファー	国際経済学科 4年	
8	テルザー リチャード	国際経済学科 2年	1999年9月~2000年3月
	ラバ キャッシー	国際経済学科 2年	
	モア エロン	国際経済学科 3年	
	アンティチ テイビッド	国際経済学科 3年	
9	タッカー テリース	国際経済学科 4年	1999年9月~2000年8月
	リー シャネル	国際経済学科 2年	
	ジコブソン ジャーナ	国際経済学科 3年	
	ディール チャッド	国際経済学科 3年	
10	ヘルゲンソン シャノン	国際経済学科 4年	2000年9月~2001年8月
	サンダーソン ジェイソン	国際経済学科 4年	
	ブライアン ミノット	国際経済学科 4年	
	ジョンソン フィル	国際経済学科 4年	
11	ジョンソン フィル	国際経済学科 4年	2002年9月~2003年7月
	トリスタン ヴィック	英米学科 4年	
	コッタス テイビッド	国際経済学科 2年	
	ターナー グラント	国際経済学科 3年	
12	ウエリング ジェシー	国際経済学科 4年	2004年9月~2005年7月
	ベトロニ クリストファー	国際経済学科 4年	
	ブゼッティ サラ	英米学科 3年	
	ヒューベア クリス	英米学科 4年	
13	ジェンセン サムエル	国際経済学科 2年	2006年4月~2006年7月
	コナーズ アンドリア	国際経済学科 3年	
	フェル ロブ	英米学科 4年	
	ジュリアード サーシャ	国際経済学科 3年	
14	バートランド ロバート	国際経済学科 3年	2006年9月~2007年7月
	セトレン ダニエル	国際経済学科 4年	
	テイグル アマンダ	国際経済学科 4年	
	ライケンバーグ コール	国際経済学科 4年	
15	ドー ザック	国際経済学科 3年	2008年4月~2008年7月
	キャンブ イアン	国際経済学科 4年	
	マーニオン スティーブン	国際経済学科 2年	
	ショルツ ジョン	国際経済学科 3年	
16	クリーク リンジ	国際経済学科 4年	2008年9月~2009年2月
	スナイダー ウィリアム	国際経済学科 2年	
	レリオス ローレン オブリー	国際経済学科 3年	
	クリーク リンジ	国際経済学科 4年	
17	スナイダー ウィリアム	国際経済学科 2年	2009年4月~2009年7月
	レリオス ローレン オブリー	国際経済学科 3年	
	クリーク リンジ	国際経済学科 4年	
	スナイダー ウィリアム	国際経済学科 2年	

	氏名	学 科	受入期間
18	マーシャル スコット	国際経済学科 3年	2010年4月~2011年2月
	クラーク リチャード トレバー	国際経済学科 3年	
19	チンマン ジョナ	国際経済学科 2年	2010年9月~2011年7月
	ブロックウィック ジェフリー	ホスピタリティマネジメント学科4年	
	ジョーンズ ジェニファー	ホスピタリティマネジメント学科4年	
20	コルビン タナー	ホスピタリティマネジメント学科3年	2011年9月~2012年2月
	マクアリストター テリー	国際経済学科 3年	
	バルツ アダム	国際経済学科 4年	
21	シャーマン ジェームス	国際経済学科 3年	2012年9月~2013年8月
	トウ ステイカス	国際経済学科 4年	
	アンダーソン パトリック	国際経済学科 4年	
	ハム グリフン	英米学科 3年	

### アメリカ モンタナ大学

	氏名	学 科	受入期間
1	チブケイ リノ	国際経済学科 4年	2000年9月~2001年8月
2	フレティエ エリン	英米学科 3年	2008年9月~2009年7月

### アメリカ キャロル大学

	氏名	学 科	受入期間
1	ピッツスティック アリサ	経営学科 3年	1991年9月~1992年8月
	ハーディ マット	国際経済学科 1年	
2	キーン パトリック	国際経済学科 3年	1993年9月~1994年8月
	ペーカー クリスティ	国際経済学科 4年	
3	キーン パトリック	国際経済学科 4年	1994年9月~1995年8月
4	シェイ ダニエル	英米学科 2年	1995年9月~1996年8月
5	ランセス レイチェル	国際経済学科 3年	1996年9月~1997年8月
	ラプリス アンドリュウ	国際経済学科 3年	
6	アダムズ ライアン	国際経済学科 3年	1997年9月~1998年8月
	クイン マイケル	経営学科 4年	
7	ゴリン ケリー	社会福祉学科 4年	1997年9月~1998年8月
	ドラッツァグ テイブ	国際経済学科 4年	
8	プレイデン シェリー	国際経済学科 3年	1998年9月~1999年8月
	ゼンツナー ダニエル	国際経済学科 2年	
9	キム キョンジン	国際経済学科 4年	2000年9月~2001年3月
10	マケイ トッド	国際経済学科 2年	2003年9月~2004年3月
	ゾロ アダム	英米学科 2年	
11	ウィルケンセン スベンサー	国際経済学科 4年	2005年9月~2006年7月
12	エチャート アン クリスティン	国際経済学科 3年	2008年9月~2009年7月
	エチャート アレクサ	国際経済学科 4年	

※氏名は姓名の順に統一。



## アメリカ インターネットワーク大学

	氏名	学 科	受入期間
1	マシューズ ルイス	市 経営学科	1991年9月~1992年8月
2	マゼラ ブルック	市 国際経済学科	1992年9月~1993年8月
3	アルバード メリッサ	市 国際経済学科	1993年9月~1994年8月
4	バイエステール カロリーナ	市 国際経済学科	1994年9月~1995年8月
5	ガルシア ローラ	市 国際経済学科	1995年9月~1996年8月
6	アグニースィ ルイス	市 国際経済学科	1996年9月~1997年8月
7	チャイルズ ケビン	市 経営学科	1997年9月~1998年2月
8	アグニースィ ルイス	市 経営学科 3年	1998年9月~1999年8月
9	ロジャース レニー	市 国際経済学科 2年	1999年9月~1999年12月
10	林 伶 瑾	市 国際経済学科 3年	2000年4月~2001年8月
	コーエン ジョー	市 国際経済学科 2年	2000年9月~2001年8月
11	ガーザ アンドレア	市 国際経済学科 3年	2001年9月~2002年8月
	サリナス メリッサ	市 英米学科 4年	
12	ベドロザ カレン	市 国際経済学科 2年	2002年9月~2003年7月
	ラッキー オーランド	市 国際経済学科 3年	
13	クリスティーナ スクーノバー	市 国際経済学科 4年	2003年9月~2004年7月
	パトリック ミラー	市 国際経済学科 4年	
14	ロドリゲス・コール ジェイコブ	市 国際経済学科 3年	2004年9月~2005年7月
	ウォルトン ショーン	市 国際経済学科 3年	
15	バルド アンジェロ	市 国際経済学科 2年	2005年9月~2006年7月
	カラウェイ ジェニファー	市 国際経済学科 3年	
16	ゴンザレス クリスタル	市 英米学科 3年	2006年9月~2007年7月
17	グリフィン チャンス	市 国際経済学科 3年	2007年9月~2008年7月
18	スパイサー ティファニー	国際経済学科 3年	2008年9月~2009年7月
	ガーザ アナ	市 国際経済学科 3年	
19	エレラ ビクトリア	国際経済学科 2年	2011年9月~2012年7月
	マクベール ケルシー	国際経済学科 3年	
	ガブリエル カスリン	国際経済学科 4年	
	ヨコオ ミワコ	英米学科 2年	
20	エスパーザ ジョン	国際経済学科 3年	2013年9月~2014年8月

※市=熊本市交流事業

## アメリカ アワーレディオブザレイク大学

	氏名	学 科	受入期間
1	テロ ロバート	経済学科	1990年9月~1991年8月
2	マズーカ ピーター	国際経済学科	1992年9月~1993年8月
3	サンチェス ネリー	国際経済学科	1993年9月~1994年8月
4	モレノ ピアトリス	国際経済学科	1996年9月~1997年8月
5	メイフィールド ケーナ	経営学科	1997年9月~1998年8月
6	グリーンソン ヒラリー	経営学科 2年	1998年9月~1999年8月

※熊本市交流事業

## カナダ セント・メアリーズ大学

	氏名	学 科	受入期間
1	バーソンス アンドレ	英米学科 4年	2001年9月~2002年8月
	ピッツ アリソン	英米学科 2年	
2	マーク クロスビー	国際経済学科 4年	2003年9月~2004年7月
	コリン レニー	英米学科 2年	
3	ベネット ジョン	国際経済学科 4年	2004年9月~2005年7月
	ケネディ トレバー	国際経済学科 4年	
4	ヘンマン マイケル	国際経済学科 4年	2005年9月~2006年7月
5	ホワイットヘッド レジーナ	国際経済学科 3年	2007年9月~2008年7月
	マカーロン ピーター	国際経済学科 3年	
6	ドゥガール アレクサンドリア	国際経済学科 3年	2008年9月~2009年7月
	ルイス レイチェル	国際経済学科 3年	
7	ゴドフリ ジョジナ	国際経済学科 3年	2009年4月~2010年3月
8	チャトティブソングル パトーン	国際経済学科 3年	2010年9月~2011年3月
	ファレル ジョルダン	国際経済学科 4年	2010年9月~2011年7月
	ドゥガール アレクサンドリア	英米学科 4年	
9	メイ アレクサンダー	国際経済学科 3年	2011年9月~2012年7月
10	エイキンズ グレム	国際経済学科 4年	2013年9月~2014年8月
	フルーリ ダニエル	国際経済学科 4年	

## カナダ カールトン大学

	氏名	学 科	受入期間
1	ゴーニ ダニー	英米学科 3年	2002年9月~2003年7月
2	ブルーム ダンカン	国際経済学科 3年	2004年9月~2005年7月
	マエダ クリス	国際経済学科 3年	
3	チョン イレイン	経営学科 4年	2005年9月~2006年7月
	李 孟 超	経営学科 4年	
4	シュワルツ ダニエル	国際経済学科 4年	2007年9月~2008年7月
5	レマスワール ロバート	国際経済学科 3年	2009年9月~2010年7月
6	リアン ユーセン	国際経済学科 4年	2010年9月~2011年7月
7	ファスト アンナ	国際経済学科 3年	2011年9月~2012年7月
8	デイン トニー	国際経済学科 4年	2012年9月~2013年8月

※氏名は姓名の順に統一。

## イギリス リバプールジョンモーズ大学

	氏名	学 科	受入期間
1	クラーク ティム	経営学科 3年	1992年9月~1993年8月
	ボズナンスキー ダニエル	経営学科 3年	
2	フェラーリ ロバート	経営学科 3年	1993年9月~1994年8月
	ホワイト クライブ	経営学科 3年	
3	ウェアリング ケリー	経営学科 3年	1994年9月~1995年8月
	ケリー サンドラ	国際経済学科 3年	
4	ダネンバーグ アンナ	経営学科 3年	1995年4月~1995年8月
	ウェルシュ フィオナ	国際経済学科 3年	
	コクショール ヴァネッサ	商学科 3年	
	モーズ サマンサ	経済学科 3年	
5	ヒューズ アンドレア	英米学科 3年	1996年4月~1996年8月
	モンク ジャクリン	英米学科 3年	
	ペイリ ナターシャ	英米学科 3年	
	ディオ カレン	英米学科 3年	
	シャ サンティア	国際経済学科 3年	
	マリー ローレンス	国際経済学科 3年	
6	バーター セーラ	英米学科 3年	1997年4月~1997年8月
	リチャーズ テイモン	英米学科 3年	
	ギブソン マルコム	英米学科 3年	
	ワッツ クレア	英米学科 3年	
	アスラム タンビヤ	経営学科 3年	
	ムムタズ シャリク	経営学科 3年	
7	ホフ レベッカ	英米学科 3年	1998年4月~1998年8月
	ゴス セーラ	英米学科 3年	
	インワード ジャロン	経営学科 3年	
	ハルソル マシュー	経営学科 3年	
8	ノルーズ エミリー	英米学科 3年	1999年4月~1999年8月
	モー ヘレン	英米学科 3年	
	デシルバ ニマリ	英米学科 3年	
	ドヴソン ヘイリー	英米学科 3年	
	ガンダリー レーチェル	国際経済学科 3年	
	バース エディ	国際経済学科 3年	
9	シャロッツ ローラ	東アジア学科 3年	2000年4月~2000年8月
	ダトン クリス	国際経済学科 3年	
	プレストン ウェスリ	国際経済学科 3年	
	ジェフリーズ ヘレン	国際経済学科 3年	
	洗 淑 敏	英米学科 3年	
10	アルカトラ アルギロ	英米学科 3年	2001年4月~2001年8月
	スタマーズ ケイティ	英米学科 3年	
	マリー リサ	英米学科 3年	
	アリスンティ ヴィヴィ	国際経済学科 3年	
	チャコースキ ビクトリア	英米学科 3年	
11	バーンズ ダニエル	英米学科 3年	2002年4月~2002年8月
	ホートン カレン	国際経済学科 3年	
12	ウォード ローラ	国際経済学科 3年	2003年4月~2003年7月
	ブリッジ レイチェル	国際経済学科 3年	
	アヌート ダニエル	国際経済学科 3年	
13	アダムソン マシュー	国際経済学科 3年	2004年4月~2004年7月
	ラングボーン デビッド	英米学科 3年	
	ドリナン リー	国際経済学科 3年	
	ラペール ローラ	国際経済学科 3年	
14	ジョイス バトリック	国際経済学科 3年	2006年4月~2006年7月
	オバーラ マリーカ	国際経済学科 3年	
	マクナリ スティーブン	国際経済学科 3年	
15	バナタイン ニコラ	国際経済学科 3年	2007年4月~2007年7月
	バナーダ タイソン	国際経済学科 3年	
	グリーンヒル クリス	国際経済学科 3年	2007年9月~2008年7月

	氏名	学 科	受入期間
16	モー ヒュー	国際経済学科 3年	2008年4月~2008年7月
	リンドリ ケート	国際経済学科 3年	
	ウイトマン リアン	国際経済学科 3年	2008年9月~2009年7月
	ヒース テイビッド	英米学科 3年	
17	スコサーン カーリー	国際経済学科 3年	2009年9月~2010年7月
	コルトン トバイアス	国際経済学科 3年	
	ベネート ヴィクトーリア	国際経済学科 3年	
18	セルイン エマ	国際経済学科 3年	2010年4月~2010年8月
	ウェイト ジェニヴィーヴ	英米学科 3年	
	ヒキンソン イアン	英米学科 3年	
	リーチ セーラ	英米学科 3年	
19	パッターワース ダニエル	英米学科 3年	2011年9月~2012年7月
	ケンドール アンドリュー	英米学科 3年	
	ケレン ライアン	国際経済学科 3年	
20	ケレン ライアン	国際経済学科 3年	2012年9月~2013年8月

## イギリス アルスター大学

	氏名	学 科	受入期間
1	バイヤーズ ヘレン	国際経済学科 3年	1999年9月~2000年8月
	ドハーティ フィリップ	国際経済学科 3年	

## イギリス セントラル・ランカシャー大学

	氏名	学 科	受入期間
1	デイビス サム	ホスピタリティマネジメント学科 3年	2012年9月~2013年8月
	フレザー ヘザー	ホスピタリティマネジメント学科 3年	
	コレット ミア	英米学科 3年	
2	クリエン ナイル	ホスピタリティマネジメント学科 3年	2013年9月~2014年8月
	ショルテリ エミリー	英米学科 3年	
	ハワード ジェームス	英米学科 3年	

※氏名は姓名の順に統一。



## オーストラリア ラトロブ大学

	氏名	学 科	受入期間
1	リー レベッカ	国際経済学科 2年	2003年9月~2004年2月
	ウォール レベッカ	国際経済学科 2年	
2	バターソン マーク	国際経済学科 3年	2004年4月~2005年2月
	ライアン ジョアンナ	国際経済学科 2年	2004年9月~2005年2月
3	オールドフィールド レオン	国際経済学科 3年	2005年9月~2006年2月
4	ワン プレンドン	国際経済学科 2年	2007年9月~2008年7月
5	ハドサン ローリー	国際経済学科 2年	2008年4月~2009年2月
6	ローズミス アシュリー	国際経済学科 3年	2009年4月~2010年3月
	マッカロク オティス	国際経済学科 3年	
7	ドラグウィツジ マーク	英米学科 3年	2013年9月~2014年8月

## ニュージーランド ユニテック工科大学

	氏名	学 科	受入期間
1	ドナルドソン ミランダ	国際経済学科 2年	1999年9月~2000年3月
	リアング アニー	国際経済学科 2年	1999年9月~2000年3月
2	李 智 姫	東アジア学科 2年	2000年9月~2001年3月
3	韓 ボリー	商学科 1年	2001年9月~2002年3月
4	コリンズ ジョン	英米学科 2年	2001年9月~2002年3月
	カウデン マックスウェル	英米学科 4年	2002年9月~2002年10月
5	金 美 星	東アジア学科 2年	2002年9月~2003年2月
	林 運 映	東アジア学科 4年	2002年9月~2003年7月
6	フィリップ ウィルクス	英米学科 2年	2003年9月~2004年1月
7	スチール ウィレム	英米学科 2年	2004年9月~2005年2月
	ジャオ ジェシュン	英米学科 2年	
8	ス ジェフ	英米学科 2年	2004年9月~2005年7月
	スー チェング	英米学科 2年	
9	ホワイト クリストファー	英米学科 2年	2005年9月~2006年2月
	エクホード クリス	英米学科 2年	
10	チャン メロディ	ホスピタリティ・マネジメント学科2年	2006年9月~2007年7月
	キム テニー	ホスピタリティ・マネジメント学科2年	
10	スチュワート キャサリン	英米学科 1年	2012年11月~2012年12月
	シヨネル ギー	英米学科 1年	
	マシュー サラ	英米学科 3年	
	ワン ジアン	英米学科 3年	

## ニュージーランド クライストチャーチ・ポリテクニク工科大学

	氏名	学 科	受入期間
1	バドフォード ケーデンス	ホスピタリティ・マネジメント学科3年	2012年4月~2013年3月

## ドイツ ラインランド・プファルツ州立経済大学

	氏名	学 科	受入期間
1	トライアー シュテファン	商学科 3年	1994年9月~1995年2月
	トムセン シモーネ	経営学科 3年	
	シュマルツ グレゴア	経済学科 3年	
	ジークファンツ クレメンス	国際経済学科 3年	
2	コスタカ ジリ	国際経済学科	1995年9月~1996年2月
	ペラネク ベーター	国際経済学科	
	ディーツ アネット	国際経済学科	
	ドヤリング シルケ	国際経済学科	

## フランス リヨン商科大学

	氏名	学 科	受入期間
1	ロワイエ セブリーヌ	商学科 4年	1992年4月~1993年3月

## タイ チュラロンコーン大学

	氏名	学 科	受入期間
1	プフルツパン クラウキチクル	国際経済学科 4年	2003年9月~2004年7月
2	ウンズッカセム バーリーナー	国際経済学科 4年	2006年4月~2007年3月
3	リムグン チャトゥラポー	国際経済学科 4年	2007年9月~2008年7月
4	ウォンウツティアナン ヤーダー	国際経済学科 4年	2008年9月~2009年7月
5	テムシユム ナリウイスット	国際経済学科 4年	2009年9月~2010年7月
6	トゥンワツタナ トウンラー	英米学科 4年	2010年9月~2011年7月
7	マンアリー タッサニーパー	英米学科 4年	2011年9月~2012年7月
8	ダンパチック タナナン	国際経済学科 4年	2012年9月~2013年8月
9	ラックヤットウォン ナヤマイ	国際経済学科 4年	2013年9月~2014年8月

## ベトナム ベトナム国家大学ハノイ校

	氏名	学 科	受入期間
1	ゴ ティ ビイク トウイ	経営学科 2年	2001年4月~2002年3月
2	グエン ティ タイン トウイ	経営学科 3年	2002年4月~2003年3月
3	グエン ティ ミン ロイ	経営学科 4年	2003年4月~2004年3月
4	チン ティ フォン タオ	経営学科 4年	2004年4月~2005年3月
5	レー ミン ヒエウ	英米学科 3年	2005年4月~2006年3月
6	ファム チュック クイン	英米学科 3年	2006年4月~2007年3月
7	チャン ティ ミー	英米学科 3年	2007年4月~2008年3月
8	グエン ティ チャン	東アジア学科 3年	2008年4月~2009年2月
9	ファム ホン ハン	英米学科 3年	2009年4月~2010年3月
10	ホアン タン フェン	東アジア学科 3年	2010年4月~2011年3月
11	ティン ティ ホン ズエン	東アジア学科 3年	2011年4月~2012年3月
12	ティン ティ トゥー	英米学科 3年	2012年4月~2013年3月
13	グエン ティ フェン	英米学科 3年	2013年4月~2014年3月

※氏名は姓名の順に統一。



韓国 大田大学校

	氏名	学科	受入期間
1	黄 淳 英	経営学科 3 年	1995年4月~1996年2月
	辛 允 貞	経済学科 4 年	
	崔 秀 芝	東アジア学科 2 年	
	李 銀 娥	東アジア学科 2 年	
2	金 鍾 烈	商学科 3 年	1996年4月~1997年3月
	都 慧 承	経営学科 4 年	
	成 大 永	東アジア学科 3 年	
	李 羊 宿	東アジア学科 3 年	
3	趙 康 熙	商学科 3 年	1997年4月~1998年3月
	朴 京 蘭	経営学科 4 年	
	李 相 鉉	東アジア学科 4 年	
	朴 美 羅	東アジア学科	
4	金 容 完	商学科 3 年	1998年4月~1999年3月
	徐 銀 珠	経営学科 3 年	
	許 彰 益	東アジア学科 3 年	
	權 順 德	東アジア学科 4 年	
5	李 南 周	国際経済学科 4 年	1999年4月~2000年3月
	金 勲 鎬	東アジア学科 4 年	
	李 承 哲	東アジア学科 4 年	
	劉 眞 福	社会福祉学科 3 年	
6	金 妙 嬉	経営学科 3 年	2000年4月~2001年3月
	方 仁 善	経営学科 3 年	
	尹 雪 蘭	東アジア学科 4 年	
	李 有 姬	東アジア学科 4 年	
7	具 美 羅	経営学科 4 年	2001年4月~2002年3月
	車 承 炫	国際経済学科 4 年	
	崔 尚 美	東アジア学科 4 年	
	李 廷 圭	東アジア学科 4 年	
8	權 一 訓	国際経済学科 4 年	2002年4月~2003年3月
	李 炯 珍	東アジア学科 4 年	
	康 安 洙	東アジア学科 4 年	
9	韓 美 貞	国際経済学科 4 年	2003年4月~2004年3月
	朴 鐘 順	東アジア学科 4 年	
	崔 珍 美	東アジア学科 4 年	
	黄 晶 民	東アジア学科 4 年	
10	宋 侖 燮	経営学科 4 年	2004年4月~2005年3月
	吳 秀 珍	国際経済学科 4 年	
	李 有 碩	東アジア学科 4 年	
	李 尚 勲	東アジア学科 4 年	
11	白 斗 鉉	経営学科 4 年	2005年4月~2006年3月
	李 壽 連	経営学科 4 年	
	朴 鎮 希	経営学科 4 年	
	宋 明 俊	経営学科 4 年	
	宋 銀 喜	経営学科 4 年	
	俞 輝 在	経営学科 4 年	
12	金 魯 益	経営学科 4 年	2006年4月~2007年3月
	李 秀 源	経営学科 4 年	
	千 永 珍	経営学科 4 年	
	崔 定 仁	経営学科 4 年	
	金 容 宇	経営学科 4 年	
	李 善 美	経営学科 4 年	
	金 鎮 植	東アジア学科 3 年	
金 龍 國	東アジア学科 4 年		
13	權 景 昊	経営学科 3 年	2007年4月~2008年3月
	柳 英 浩	経営学科 3 年	
	李 賢 烈	国際経済学科 4 年	
	宋 有 善	東アジア学科 4 年	
	李 知 映	東アジア学科 4 年	
	李 世 桓	東アジア学科 4 年	
	李 淞 薈	東アジア学科 4 年	
陳 成 恩	東アジア学科 4 年		

	氏名	学科	受入期間
14	吉 智 慧	経営学科 3 年	2008年4月~2009年3月
	Lee Seul	経営学科 3 年	
	崔 斗 桓	経営学科 4 年	
	金 璋 鎬	東アジア学科 4 年	
	陸 正 勲	東アジア学科 4 年	
	河 受 旻	東アジア学科 4 年	
	朴 明 恩	東アジア学科 4 年	
15	林 恩 惠	東アジア学科 4 年	2009年4月~2010年3月
	朴 淨 雅	東アジア学科 3 年	
	李 慧 恩	東アジア学科 3 年	
	趙 宣 貞	東アジア学科 3 年	
	朴 連 姬	東アジア学科 3 年	
	尹 泰 重	東アジア学科 4 年	
	柳 賢 淑	東アジア学科 4 年	
16	許 珉 寧	東アジア学科 4 年	2010年4月~2011年3月
	李 至 愛	東アジア学科 4 年	
	權 珠 熙	経営学科 3 年	
	尹 銀 貞	経営学科 3 年	
	朴 惠 隣	東アジア学科 3 年	
	閔 孝 善	東アジア学科 3 年	
	金 鍾 龍	東アジア学科 4 年	
17	薛 美 擿	東アジア学科 4 年	2011年4月~2012年3月
	李 華 英	東アジア学科 4 年	
	黄 庚 那	東アジア学科 4 年	
	姜 炫 求	東アジア学科 4 年	
	金 旻 瑩	東アジア学科 4 年	
18	南 承 妍	東アジア学科 4 年	2012年4月~2013年3月
	尹 惠 榮	東アジア学科 4 年	
	金 景 瓊	英米学科 3 年	
	蔡 熙 眞	英米学科 3 年	
	全 韓 植	東アジア学科 3 年	
	孫 浩 然	東アジア学科 4 年	
19	金 榮 雨	東アジア学科 4 年	2013年4月~2014年3月
	安 東 慶	東アジア学科 4 年	
	金 永 煥	東アジア学科 3 年	
	金 昇 賢	東アジア学科 3 年	
	安 子ヨハ	東アジア学科 3 年	
	李 昭 潤	東アジア学科 3 年	
文 多 彬	東アジア学科 4 年		
張 朱 希	社会福祉学科 3 年		

※氏名は姓名の順に統一。



## 中国 深圳大学

	氏名	学 科	受入期間
1	羅 鋼	商学科 4 年	1989年1月~1990年1月
	仰 英 姿	経済学科 4 年	
2	劉 凱 東	経済学科 4 年	1989年10月~1990年10月
	廖 東 鳴	経済学科 4 年	
3	朱 海 波	商学科 4 年	1991年2月~1992年2月
	徐 麗 君	経済学科 4 年	
4	範 漫 真	経営学科 4 年	1992年3月~1993年3月
	応 鳴 一	経営学科 4 年	
5	尤 梅	経営学科 4 年	1993年4月~2000年3月
	吳 榮	経営学科 4 年	
6	張 蓉 霞	商学科 4 年	1994年4月~2001年3月
	庄 东 燕	経営学科 4 年	
7	刘 若 瑜	国際経済学科 4 年	1995年4月~2002年3月
	刘 华 端	国際経済学科 4 年	
8	顏 龙 梅	国際経済学科 3 年	1996年4月~2003年3月
	尹 洁 颖	国際経済学科 3 年	
9	温 志 斌	経営学科 3 年	1997年4月~2004年3月
	張 雲 菁	国際経済学科 3 年	
10	簡 楚 宇	経営学科 3 年	1998年4月~1999年3月
	張 敏	経営学科 3 年	
11	欧 阳 如	経営学科 4 年	1999年4月~2000年3月
	吳 蔚 彬	経営学科 3 年	
12	刘 霞	経営学科 3 年	2000年4月~2001年3月
	叶 曉 榕	国際経済学科 3 年	
13	王 曉 丹	経営学科 3 年	2001年4月~2002年3月
	楊 麗	経営学科 3 年	
14	曾 丽 颖	経営学科 3 年	2002年4月~2003年3月
	董 琰	国際経済学科 3 年	
15	罗 燕 雯	経営学科 4 年	2003年4月~2004年3月
	刘 思 思	国際経済学科 4 年	
16	潘 燕 萍	経営学科 3 年	2004年4月~2005年3月
	付 細 月	国際経済学科 3 年	
17	蔡 昕 宜	経営学科 3 年	2005年4月~2006年3月
	莫 雅 娟	国際経済学科 3 年	
18	賈 嘉	経営学科 3 年	2006年4月~2007年3月
	張 小 燕	国際経済学科 3 年	
19	鄭 穎 儀	経営学科 3 年	2007年4月~2008年3月
	李 智 麗	経営学科 3 年	
20	肖 一 航	経営学科 3 年	2008年4月~2009年3月
	黄 曉 梅	国際経済学科 3 年	
21	庄 妮	経営学科 3 年	2009年4月~2010年3月
	肖 诗 亮	経営学科 3 年	
22	羅 宇 晴	経営学科 3 年	2010年4月~2011年3月
	陳 妙 雲	国際経済学科 3 年	
23	韓 籟	経営学科 3 年	2011年4月~2012年3月
	羅 夢 霞	国際経済学科 3 年	
24	張 小 曼	国際経済学科 3 年	2012年4月~2013年3月
	王 虹 雲	国際経済学科 3 年	
25	江 山	経営学科 3 年	2013年4月~2014年3月
	黄 妙 冰	国際経済学科 3 年	

## 中国 北京第二外国語学院

	氏名	学 科	受入期間
1	高 峰	経営学科 3 年	2006年4月~2007年3月
2	楊 華	経営学科 2 年	2007年4月~2008年3月
3	崔 明 清	経営学科 2 年	2008年4月~2009年3月
4	曹 沁 钰	国際経済学科 2 年	2009年4月~2010年3月
5	胡 維 偉	経営学科 2 年	2010年4月~2011年3月
6	邹 乔 生	東アジア学科 2 年	2011年4月~2012年3月
7	張 清 杰	経営学科 2 年	2012年4月~2013年3月
8	蘇 文 怡	国際経済学科 2 年	2013年4月~2014年3月

## 中国 桂林市

	氏名	学 科	受入期間
1	丛 刊	経営学科	1986年4月~1987年3月
2	蔡 元 欣	経営学科	1996年4月~1997年3月
3	葉 紅 雲	経営学科	1998年4月~1999年3月
4	李 明 華	東アジア学科	2000年4月~2001年3月
5	蔣 麗 華	経営学科 3 年	2002年4月~2003年3月
	王 力	国際経済学科 3 年	
6	王 悦 僊	商学科 2 年	2004年4月~2005年3月
	肖 干	商学科 4 年	
7	張 軍	東アジア学科 4 年	2006年4月~2007年3月
	景 悦	東アジア学科 4 年	

※熊本市交流事業

## 台湾 崑山科技大學

	氏名	学 科	受入期間
1	吳 孟 芳	国際経済学科 4 年	2010年9月~2011年7月
2	賴 品 秀	国際経済学科 4 年	2011年9月~2012年7月
3	黄 聖 博	国際経済学科 4 年	2013年4月~2014年3月
	徐 郁 雯	国際経済学科 4 年	2013年9月~2014年8月

## 受入交換留学生総数

受入年度	受入学生数
S61 (1986)	1
S63 (1988)	2
H1 (1989)	2
H2 (1990)	1
H3 (1991)	7
H4 (1992)	8
H5 (1993)	9
H6 (1994)	13
H7 (1995)	19
H8 (1996)	20
H9 (1997)	19
H10 (1998)	17
H11 (1999)	23
H12 (2000)	22
H13 (2001)	18
H14 (2002)	18
H15 (2003)	20
H16 (2004)	28
H17 (2005)	22
H18 (2006)	24
H19 (2007)	26
H20 (2008)	29
H21 (2009)	25
H22 (2010)	24
H23 (2011)	22
H24 (2012)	19
H25 (2013)	24
合 計	462

※氏名は姓名の順に統一。

## INTERNATIONAL EXCHANGE PROGRAM COMMITTEE MEMBERS

### 国際交流委員会メンバー

国際交流委員長 Chair	司馬公周 SHIBA, Koshu	
商学部 Faculty of Commerce	喬 晋建 QIAO, Jinjian (2013年1月～)	土井 文博 DOI, Fumihiro
経済学部 Faculty of Economics	中敷領 孝能 NAKASHIKIRYO, Takayoshi	宮崎 麻美 MIYAZAKI, Asami
外国語学部 Faculty of Foreign Languages	ジョセフ トウメイ TOMEI, Joseph	土井 浩嗣 DOI, Hirotsugu
社会福祉学部 Faculty of Social Welfare	山西 裕美 YAMANISHI, Hiromi	藤本 延啓 FUJIMOTO, Nobuhiro
大学院 Graduate School	藤田 昌也 FUJITA, Masaya (～2013年3月)	花田 昌宣 HANADA, Masanori
	末永 英男 SUENAGA, Hideo (2013年4月～)	
国際教育課 Office of International Education	上田 信行 UEDA, Nobuyuki (～2013年3月)	切通 しのぶ KIRITOSHI, Shinobu
	稲葉 慎一 INABA, Shinichi (2013年4月～)	

## OFFICE STAFF MEMBERS

### 国際教育課スタッフ

課長	上田 信行 UEDA, Nobuyuki (～2013年3月)
	稲葉 慎一 INABA, Shinichi (2013年4月～)
課長補佐	切通しのぶ KIRITOSHI, Shinobu
係長	大澤 孝 OSAWA, Takashi
	北原かおり KITAHARA, Kaori
	大洞 時子 OHORA, Tokiko (～2013年3月)
	田原亜矢子 TAHARA, Ayako
	大村 美紗季 OMURA, Misaki (2013年4月～)
国際交流会館（事務室）	栗原 隆昭 KURIHARA, Takaaki (～2013年3月)
	前田 清明 MAEDA, Kiyooki (2013年4月～)

熊本学園大学 国際交流レター 2013 vol.35  
編集・発行 熊本学園大学国際教育課



〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号

TEL 096-364-5161(代)

FAX 096-372-4112

[ホームページ] <http://www.kumagaku.ac.jp/>